

第 67 回

東西四大学合唱演奏会



A Song for Kwansei

作詞：Edmund Blunden

作曲：山田 耕筈

編曲：林 雄一郎

That we may both receive and give,
May live to learn, and learn to live,
Kwansei, we throng;
To you we throng, not first nor last,
Rejoicing in your fruitful past,
Through seasons clear or overcast
Still true and strong.

For us the present time is grace,
With thankful hearts we take our place,
Kwansei, our own;
And, each and all, will count these hours
Beneath your trees, beneath your towers,
One long succession of kind hours.
The sweetest known.

In every art, in every skill,
We promise you we bend our will,
Kwansei, to you;
And after-comers shall acclaim,
In faith and thought, in song and game,
Your love, your hope, your strength, your fame,
Still strong and true.

早稲田大学校歌

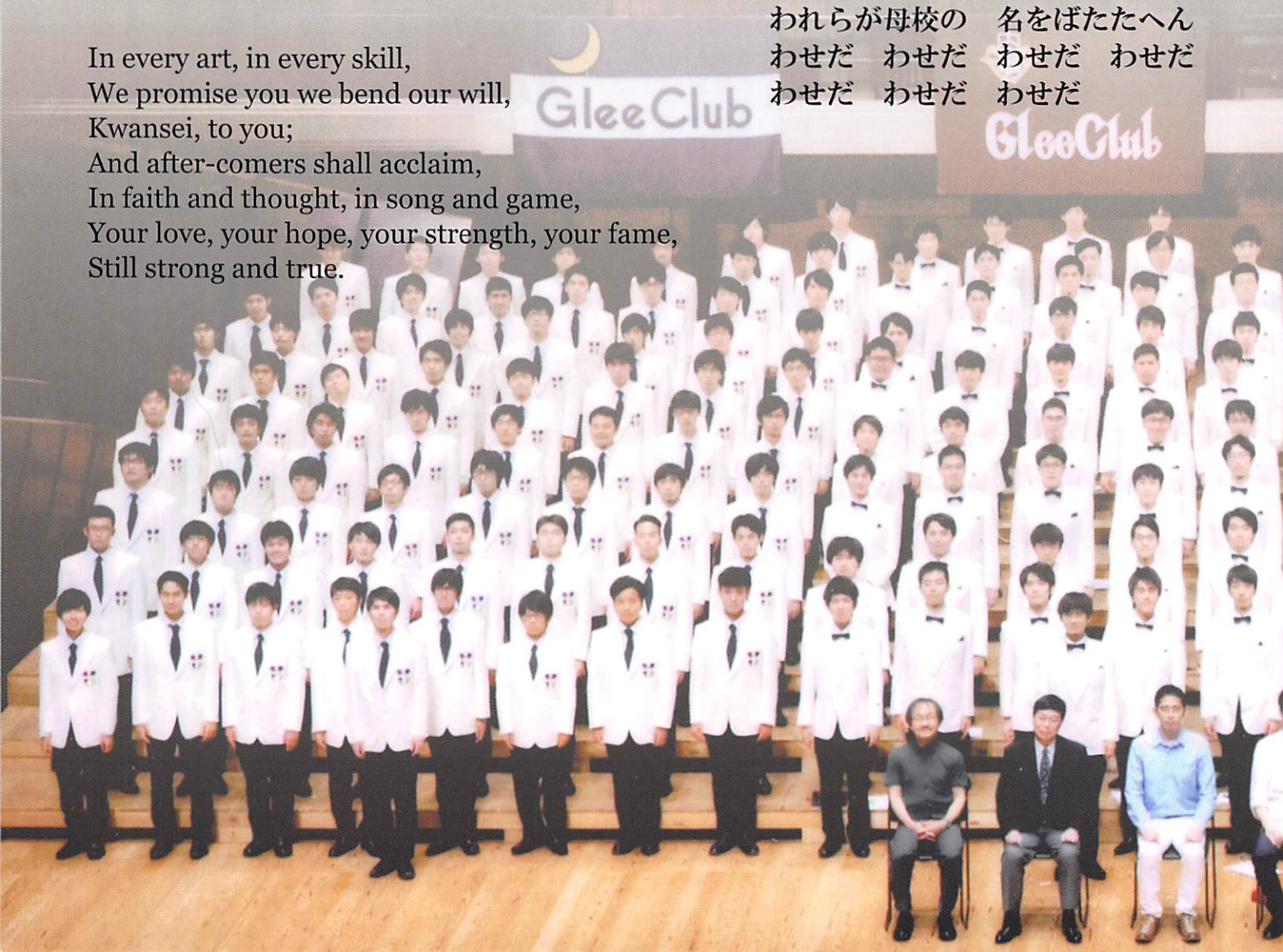
作詞：相馬 御風

作曲：東儀 鉄笛

編曲：山田 耕筈

都の西北 早稲田の森に
聳ゆる薨は われらが母校
われらが日ごろの 抱負を知るや
進取の精神 学の独立
現世を忘れぬ 久遠の理想
かがやくわれらが 行手を見よや
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ

あれ見よかしこの 常盤の森は
心のふるさと われらが母校
集り散じて 人は変れど
仰ぐは同じき 理想の光
いざ声そろへて 空もとどろに
われらが母校の 名をばたたへん
わせだ わせだ わせだ わせだ
わせだ わせだ わせだ



Doshisha College Song

慶應義塾塾歌

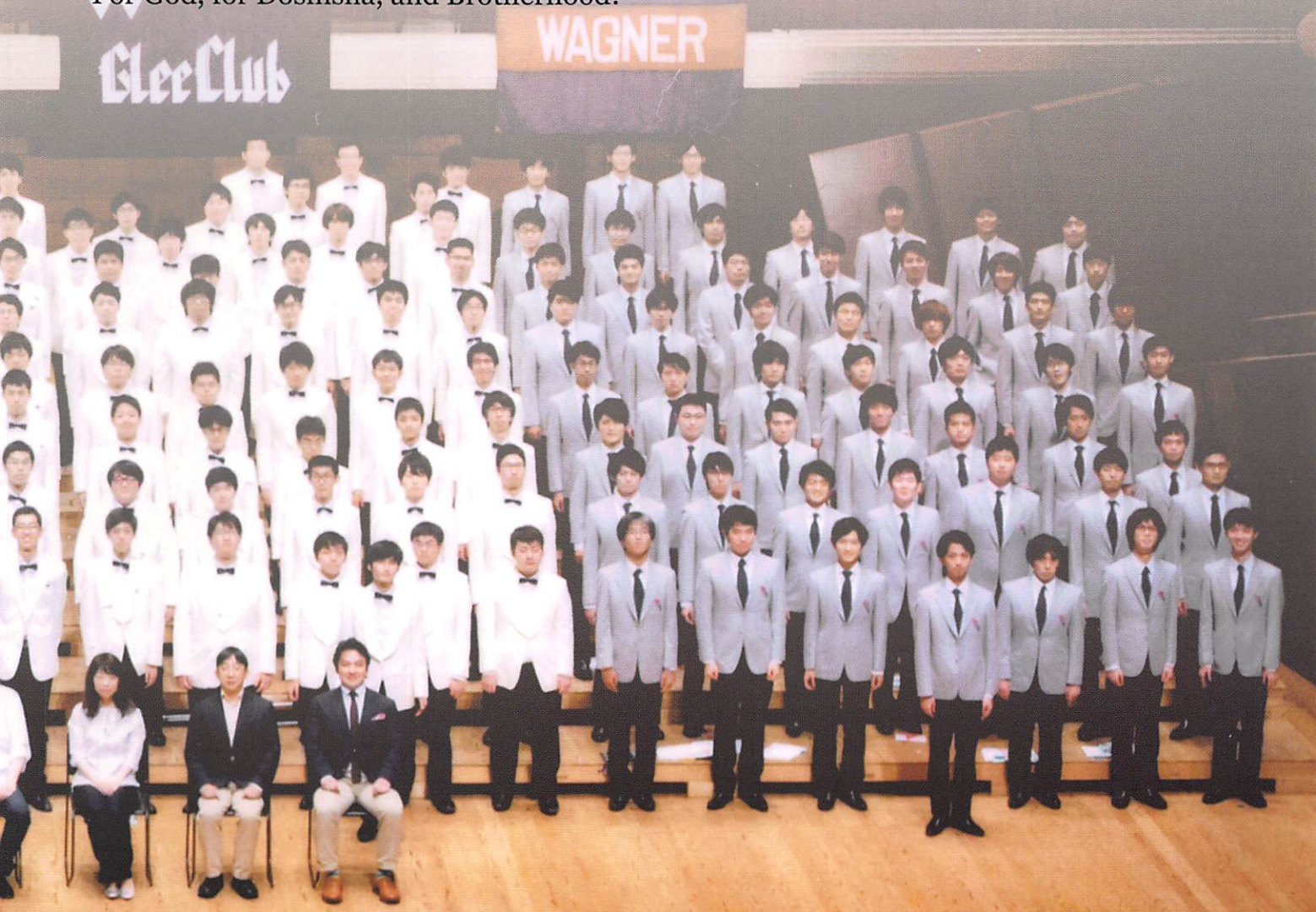
作詞：W.M.Vories
作曲：Carl Wilhelm

作詞：富田 正文
作曲：信時 潔

One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim;
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!

Still broader than our land of birth,
We've learned the oneness of our Earth;
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind.
Dear Alma Mater, sons of thine
Would strive to live the life divine;
That we may with increasing years have stood
For God, for Doshisha, and Brotherhood!

見よ
風に鳴るわが旗を
新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて
文化の護りたからかに
貫き樹てし誇りあり
樹てんかな この旗を
強く雄々しく樹てんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應



御挨拶

早稲田大学グリークラブ

本日はご来場いただきありがとうございます。東西四大学合唱演奏会も67回目を迎えることとなりました。今年もこうして無事演奏会の日を迎えられることを、心より感謝しております。私ども早稲田大学グリークラブが関西で演奏いたしますのは、2年ぶりでございます。また2年生と3年生におきましては、関東と関西の空気の違いを感じる初めての機会です。

本日の早稲田のステージにおきましては、会場にいらっしゃる皆様方に、心の奥底にある魂を揺さぶるような演奏を披露できればと思っております。皆様の頭の中に強く鳴り響く音楽であったと感じていただけますと幸いです。四校合同ステージにおきましても、関西学院、同志社、慶應の同志達と、ときめきを運ぶようなステージを披露いたします。こちらもぜひご期待くださいませ。

最後になりましたが、本日の演奏会を開催するにあたり、多大なるご指導、ご尽力を賜りました諸先生方、関係者の皆様、そしてご来場いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

第111代部長 上本考志郎

関西学院グリークラブ

本日はご多用の中、第67回東西四大学合唱演奏会にご来場下さり誠にありがとうございます。先輩方の積み上げてきた歴史ある演奏会に新たな1ページを加えるかと思うと、身も心も大変引き締まります。本日の演奏会、期待を上回る演奏を皆様にお楽しみいただけるよう、力を尽くす所存です。東西四連は各大学の意地の張り合いを見ることが出来る貴重な演奏会でもあります。四大学それぞれの力強い「意地」をお楽しみいただければ幸いです。

さて、私たち関西学院グリークラブは、男声合唱組曲「アイヌのウポポ」を演奏いたします。1965年にニューヨークで行われた第1回世界合唱祭でも演奏をした、関学の十八番であります。アイヌの伝統文化をクラブモットーである「メンタルハーモニー」を通じて盛大に表現させていただきますので、どうぞお楽しみ下さい。

末文となりましたが、演奏会を開催するにあたり多大なるご指導、ご尽力を賜りました諸先生方、関係者の皆様、そしてご来場下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

第119代部長 齋藤匠

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

本日はご多用のところ、第67回東西四大学合唱演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

爽やかな初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってきたこの季節に、また今年も四大学が一堂に会して演奏会を開催できますこと、大変嬉しく思います。

昨今では大学合唱そのものが衰退しており、人数の減少に伴って活動を縮小せざるを得ない団体も少なくありません。その中でも伝統を絶やすことなく、母校への誇りと歴史ある団旗を背負い、日ごろの練習の成果を競い合う場として「四連」は成長を続けてまいりました。大学合唱界を盛り上げる先駆けとして、さらなる高みへ挑戦する私共の歌声を通じ、心行くまでお楽しみください。

末文となりましたが、演奏会を開催するにあたり多大なご指導・ご助力を賜りました諸先生方、諸先輩方・関係者の方々、そしてご来場いただきました皆様に厚く御礼を申し上げ、挨拶にかえさせていただきます。

第143代責任者 島田莉生

同志社グリークラブ

本日はお忙しい中、御来場いただき誠にありがとうございます。歴史あり、伝統あり、誇りある東西名門合唱団のBIG4が一堂に会し、4年ぶりに京都の地で無事この日を迎えられたことを心より感謝しております。

この演奏会は四校の部員一人ひとりがそれぞれの軽くもずっしりと重いステージコートを身にまとい、時には熱く、時にはむさ苦しく、そして時には泥臭く、しかしそれでも美しく繊細な我々男たちの血湧き、肉躍る歌声をお届けいたします。今年我々が演奏するのは2014年に弊団が委嘱初演した「帆を上げよ、高く」です。曲中にも出てくる校祖新島襄が1879年に残した「Go, go, go in peace. Be strong! A Mysterious Hand will guide you!」という言葉に胸に、自団への矜持と他団への敬意を忘れず、「聴衆と一体となった音楽」を目指し、我々同志社グリークラブは平成最後となる四連という大舞台で高らかに歌います。

最後になりますが、先生方、関係者の皆さま、四連の担当マネージャー達、そして御来場いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。本日はどうぞ心ゆくまでお楽しみください。

第114代幹事長 森一就

プログラム

I. 早稲田大学グリークラブ

男声合唱曲 岬の墓

作詞：堀田善衛
作曲：團伊玖磨
編曲：福永陽一郎

指揮：小久保大輔
ピアノ：清水新

II. 関西学院グリークラブ

男声合唱組曲 アイヌのウポポ

採譜：近藤鏡二郎
作曲：清水脩

指揮：広瀬康夫

III. 慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

Trinklieder und Lied der Freundschaft ～「酒と友情」

1. Wein und Liebe(ワインと恋)
2. Liebe und Wein(恋とワイン)
3. Des Hauptmanns Wunsch(大尉の願い)
4. Lied der Freundschaft(友情の歌)

作曲：Franz Schubert
作曲：Felix Mendelssohn
作曲：Albert Lortzing
作曲：Richard Strauss
指揮：佐藤正浩

IV. 同志社グリークラブ

男声合唱とピアノのための 帆を上げよ、高く

作詞：みなづきみのり
作曲：信長貴富

指揮：伊東恵司
ピアノ：萩原吉樹

V. 合同ステージ

【委嘱初演作品】“若き芸術家とのダイアローグ”による男声合唱とパーカッションとナレーターのための

エスノ・ラップ・ミサ Etho-Rap-Mass

作詞：みなづきみのり
作曲：千原英喜

指揮：伊東恵司
パーカッション：樽井美咲／高田汐莉
ナレーター：小貫岩夫

早稲田大学グリークラブ



◆会長:伊東一郎 ◆ヴォイストレーナー:和田ひでき

早稲田大学グリークラブは早稲田大学音楽会の声楽部として活動を開始し、1907年(明治40年)に、早稲田大学の創立25周年を記念して作られた校歌、通称「都の西北」と共に、初代グリークラブが結成されました。

創立111年目を迎える今日に至るまで早稲田大学と共に歴史を歩んできた伝統ある合唱団であり、作曲家の磯部俣、声楽家の岡村喬生、コーラスグループのボニージャックスなど、音楽界の第一線で活躍する数多くのOBを輩出してきました。

現在は85名ほどの団員が所属しており、春夏秋冬、年4回の演奏会を中心に、大学公式行事における演奏や、国内外への演奏旅行、小・中・高校における音楽観賞会への出演、企業からの依頼演奏など、幅広い音楽活動を行っております。

また、去年8、9月には福島と山陽地方への国内演奏旅行を行い、各地で多くのお客様に男声合唱の魅力を伝えることができました。

国内外のオリジナル男声合唱曲はもちろんのこと、学歌から民謡、ポピュラー音楽まで幅広いジャンルの曲を演奏しております。また新曲の委嘱活動を積極的に行っており、最近では100周年記念の際にミュージシャンである小田和正氏、第60回定期演奏会では「花は咲く」の作曲で有名な菅野よう子氏、第62回定期演奏会では悪魔教布教団体「聖飢魔II」の主宰であるデーモン閣下、昨年の第66回東京六大学合唱連盟定期演奏会ではサウンドトラック界の大御所、川井憲次氏による委嘱初演をさせていただきました。

常日頃、ただの合唱団ではない、最高のエンターテインメント集団であると自負する我々早稲田大学グリークラブではございますが、今宵は一転して、クラシカルな合唱曲を取り上げ、高度なハーモニーの中に抒情的な歌詞が織り込まれた美しい音楽をお送りいたします。「紺碧の空」の下に集まった男たちの重厚なハーモニーをお楽しみください。

Top Tenor

☆上本孝志郎(先理4)横浜平沼
小林 侑介(文 4)市川
○橋本 哲也(教育4)大宮
小池 功託(人科3)熊谷
高橋 初文(社会学3)丸亀
中西 葵(法 3)穎明館
高橋 優介(政経2)八王子東
田嶋 充晴(政経2)早大本庄
深海 祐輝(基理2)早大学院
増渕 智光(商 2)宇都宮
矢島 隆弘(政経2)早大学院
山田 雄介(教育2)早大本庄

Second Tenor

鴨志田優人(教育4)水城
川村 航希(先理4)駒場東邦
藤田 稔吏(文 4)八王子東
○吉川 雄基(法 4)熊谷
井口 絢太(文 3)金光八尾
今尾 一樹(先理3)東海
神頭 和希(社会学3)富山南
森田遼太郎(創理3)私立成城
吉岡 和輝(社会学3)城北
稲村 翔(先理2)横浜緑ヶ丘
坂木 朝(教育2)富士
中尾 泰河(人科2)宮崎大宮
浪江 泰誠(スポ科2)西武学園文理
南 雄太(文構2)刈谷
宮本 陽司(先理2)竹園
村上 元基(教育2)早大本庄

Baritone

杉村 駿(人科4)三島北
○前田 直樹(政経4)海城
遠田 雄大(先理3)水戸第一
北川 喜楓(政経3)守山
萩原 颯(文構3)巣鴨
増田 旭晃(基理3)日大鶴ヶ丘
横野奏士郎(文構3)旭川東
相川 祐太(先理2)八戸
杉村 直輝(教育2)土浦第二
濱島 泰文(法 2)日比谷
森 拓海(政経2)豊多摩

Bass

○岡村 恒平(文構4)熊谷
◎田中 渉(基理4)早大本庄
藤本 卓弘(法 4)水戸第一
渡邊健太郎(法 4)本郷
岩永康太郎(文構3)池田学園池田
内山 和哉(基理3)武蔵
澤田 和希(商 3)横浜緑ヶ丘
柳沼 篤大(政経3)早稲田
山崎 隼弥(社会学3)川越東
金子 健悟(文 2)早大本庄
鈴木 直(教育2)熊谷
田爪創太郎(文 2)明治学園
床坊 太郎(法 2)金沢泉丘

☆:部長
◎:学生指揮者
○:パートリーダー

男声合唱曲

岬の墓

作詞：堀田善衛
作曲：團伊玖磨
編曲：福永陽一郎

指揮：小久保大輔
ピアノ：清水新

◆曲目解説

混声合唱曲「岬の墓」は堀田善衛(1918~1998)の象徴詩に團伊玖磨(1924~2001)が作曲した単一楽章の作品です。福永陽一郎(1926~1990)が早稲田大学グリークラブのために男声合唱編曲を施し1975年5月に初演されました。

海のうねり日のかがやき風のそよぎ。言葉を持たないそのはじまりから音楽には自然の力が満ち満ちています。しかしこの詩には有機的に運動するものは何ひとつ現れません。日は高く。空へつきぬける声を定点としてはじめに映るのは海に漂う白い美しい船。つづいて岩の間に咲く赤い花。そして岬の白い墓。この詩に現れる存在はこれですべてです。海にゆられている美しい船は現在ある自己。その船へ向けてはるか水平線の先にある未来を目指し船出せよと力強い言葉が与えられます。別の大洋を目指す船のうしろの丘にある白い墓は未来に対しての過去。その墓の下には暗い影と永遠の安らいがあることが感情を超越した音で表されます。自然は絶え間なく動き再び音と言葉が船出せよと促します。しかし目指す未来はそこへ辿り着いたならばすでに未来ではなく現在ですらありません。辿り着けぬ未来と絶えず蓄積されていく過去。その過去へ対峙し耳を澄ませる自己は未来に在るのでも現在に在るのでも過去に在るのでもなくただそこに在るだけなのかもしれません。自己が自己を知るそのとき。声なき声は声となり祝福の鐘が鳴りわたります。日は高く。その光は海に丘にそそがれ白い船は日の高さときえ等しくなりすべての存在はひとつに結ばれます。青に彩られた自然の中にある白い船と白い墓。日は高く—

赤い花は詩の中でただひとつの生命あるもの。生命という神秘によって自己は存在しています。なぜそうなのかは誰にもわかりません。しかしわからないと思う自己は確かにここに在るのです。何がわからないのかすらわからない私たちを肯定するように作品は閉じられます。

—この作品は詩であり、音楽であり、歌うもの聴くものすべてにとつての体験です。しかしながら、「岬の墓」とはいったい何なのか、恥ずかしながら私にはいまだわかりません。しかし、わからない「それ」は人から人へきつと伝わっていて、これからも伝わり続けていくのだという確信だけは、私の中に揺るぎなく存在しているのです。

他ならぬ早稲田大学グリークラブとともにこの作品と向き合う機会を与えて頂いた幸運に感謝しながら、本日の演奏がこの場をともにするみなさんの未来へとつながる体験となることを切に願っています。

2018年6月24日 小久保大輔

関西学院グリークラブ



◆顧問:嶺重淑

◆副顧問:矢橋洋

◆ヴォイストレーナー:小貫岩夫

◆技術顧問:広瀬康夫

◆運営顧問:中村翔

関西学院グリークラブは、関西学院創立から10年後の1899(明治32)年、当時原田の森(現在の王子動物園の辺り)にあったキャンパスで誕生しました。以来現在まで119年間にわたり、活動を継続している日本でもっとも長い歴史を持つ男声合唱団です。

コンクールにおいては、1963年までに戦前の競演会を含め全国大会に18回出場、招待演奏2回など輝かしい実績を残しています。2006年より出場を再開し、2017年度までの12年間で全国大会に11回出場、2010年度より8年連続金賞受賞、部門最優秀賞を3回受賞するなど、常に日本の合唱界をリードし続けてきました。

海外では、1965年にアメリカ(ニューヨーク・リンカーンセンター)で行われた第1回世界大学合唱祭に出場し世界的な評価を得たほか、パリのノートルダム寺院、ケルン大聖堂、ウィーン楽友協会大ホールなどでも演奏を行っています。

それらの活動の中で、音楽家の山田耕筈、林雄一郎、北村協一をはじめ、経済界にも多くの著名な人材を輩出しています。

2018年現在、100名を超える部員が所属。時代と共に学生の気質は変化を見せる一方、代々受け継がれてきた「メンタルハーモニー」をクラブモットーとして掲げ、メンバー一人ひとりの精神的調和を目指すことで生まれる独自のハーモニー「関学トーン」は、多くの人々から愛されています。その精神を柱に、限られた時間の中で一つ一つの演奏会に真摯に取り組み、そこに生まれるグッドウィル(暖簾)の歴史に新しい1ページを作り上げるべく、不断の努力を重ねています。

現在、東西四大学合唱演奏会、関西学院グリークラブフェスティバル、全日本合唱コンクール、そして一年を総括する関西学院グリークラブリサイタルを中心に、様々な活動を精力的に展開しています。

Top Tenor			Second Tenor			Baritone			Bass		
□石本 康輔(経)	4)関西学院		川合 悠介(理)	4)関西学院		稲川 和希(経)	4)伊川谷北		○杉原 慶彦(経)	4)松江北	
大谷 龍(文)	4)須磨東		桑本 貴之(文)	4)関西学院		◎岡田 峻典(教)	4)崇徳		谷川 泰基(社)	4)池田	
☆齋藤 匠(神)	4)横須賀学院		近藤 匠(理)	4)聖心学園		關橋 佳毅(経)	4)西脇		津田 祥吾(商)	4)西宮東	
南部 直樹(経)	4)啓明学院		○立野 雅也(商)	4)富山		栗原 優太(社)	4)育英		村上 勝顯(社)	4)関西学院	
西本 嵩(教)	4)関西学院		中川 三嘉(文)	4)近江兄弟社		嶋原 歩(総)	4)大商学園		久保 直輝(文)	3)関西学院	
三根 智也(教)	4)関西学院		前谷 泰大(社)	4)亀岡		田中 智大(文)	4)明星		林 浩平(経)	3)仁川学院	
今村 駿平(文)	3)松山東		吉元 良介(経)	4)西宮		○吉田 拓海(経)	4)関西学院		松本 陸(経)	3)駒込	
上本 樹(文)	3)関西学院		稲垣 大志(経)	3)関西学院		石川 龍太(社)	3)敬和学園		山田 航大(商)	3)関西学院	
○阪本 知弥(教)	3)関西学院		大谷 俊太(理)	3)関西学院		野田純之介(理)	3)関西学院		天野 大助(国)	2)西宮南	
高安 亮太(文)	3)関西学院		秦 芳樹(商)	3)関西学院		畑堀 克仁(経)	3)関西学院		門野 律(経)	2)大手前	
内藤 敬太(経)	3)清風		福田 幸大(経)	3)米子東		新 広大(法)	2)大洲		田島淳之介(文)	2)明治学院	
野田 脩介(理)	3)関西学院		船登 大輝(社)	3)嵯峨野		安藤 颯(文)	2)啓明学院		徳島 良亮(経)	2)関西学院	
八幡 佳介(経)	3)米子東		阿部 竜也(社)	2)徳島文理		金田 昌大(神)	2)自由ヶ丘		中川 開渡(国)	2)龍野	
岡 直樹(経)	2)神戸		岡本進太郎(法)	2)茨木		渋谷 勇紀(経)	2)須磨学園		西口 知宏(文)	2)広島工業大学	
鄭 結月(国)	2)臺中第一		寺嶋 理裕(商)	2)八千代松陰		都 達哉(社)	2)American International school Salzburg		堀口 竣平(商)	2)葺合	
前田 悠輔(教)	2)関西学院		西田 智徳(理)	2)雲雀丘学園		森 総一郎(理)	2)土浦日本大学中等教育学校				
森 翔(文)	2)京都共栄学園		西原 豊(文)	2)岡山操山							
渡辺 岳(文)	2)向陽		東 颯介(文)	2)関西学院							
金田 秀崇(社)	1)関西学院		八木 晴希(総)	1)関西学院							
松田圭一郎(文)	1)済美										

専属マネージャー

稲田 成紗(文) 4)梅光学院
岩崎 寛子(文) 4)姫路西
坂根 遥(文) 4)宮津
杉本 愛美(文) 4)東筑
辻本 黎(社) 4)智辯学院和歌山
豊田 千尋(文) 4)京都共栄学園

木下史季子(文) 3)西南女学院
佐藤 美優(社) 3)西南女学院
塩谷 志織(教) 3)帝塚山学院
清水 梨那(社) 3)帝塚山
竹村 朱莉(社) 3)神戸龍谷
鳥越 みき(社) 3)長田

兵頭 ひより(教) 3)宇和島南
松本 晴香(文) 3)加古川東
渡喜 喜菜唯(社) 2)昭和薬科大学附属
湯 楓華(文) 2)親和女子
吉野 碧(文) 2)大阪聖母女学院

☆:部長
□:人事
◎:学生指揮者
○:パートリーダー



男声合唱組曲 アイヌのウポポ

採譜：近藤鏡二郎
作曲：清水脩

指揮：広瀬康夫

◆曲目解説

清水脩の男声合唱曲において「月光とピエロ」と比肩し得る優れた作品として有名なのが「アイヌのウポポ」であろう。1961年春、立教大学グリーククラブからの依頼により同年10月23日に脱稿、12月3日に初演されたこの曲は、1965年9月、ニューヨークのリンカーン・センターで催された第1回世界大学合唱祭に招かれて渡米した関西学院グリーククラブにより北村協一の指揮で演奏され絶賛を博した。「ウポポ」とはアイヌ語で「歌」を意味するが、アイヌ研究家近藤鏡二郎氏の採集した楽譜『アイヌの歌－民謡と解説物語－第1集』（1960年出版）をもとに作られた作品の中でも「アイヌのウポポ」は最も成功した作品とされる。合唱音楽としての音楽性に加え、アイヌへの理解が希薄であった当時、近藤氏の日本語意識を採らず歌詞の全てをアイヌ語に戻した作曲は、アイヌ文化の独自性を尊重したものといえる。

I. くじら祭り

登別のフンベ山、室蘭イタンキ岬のフンベ島などの地名にも用いられる「フンベ」とは鯨のことである。くじら祭りは、鯨の魂に対する祭りの踊りの歌であり、北海道には鯨にまつわる伝説もいくつか残る。浜辺に打ち上げられた「寄りクジラ」は、アイヌにとって食料として海からの貴重な賜物であった。この曲はそれを真っ先に人間に知らせる鳥のまねをした人が、鯨の役でうずくまった人のまわりを羽根のように両手を広げて踊りながら歌うものである。アイヌ本来のわずか3音からなる民族音階の旋律だが、それに気付かせない程効果的な編曲がなされている。

II. イヨマンテ(熊祭り)

「イヨマンテ」(イ・オマンテ:それを送る)とは熊を送る儀式とシマフクロウを送る儀式のこと。美味しい肉を土産に人間の世界に遊びに来たカムイ(神である熊たち)に様々な御馳走や贈り物をし、ウポポ(踊り歌)やリムセ(踊り)で楽しんでもらう。祭りの終わりには、カムイが無事に神たちの住む自然に帰れるようにカムイ・ノミ(神を送ること、或いは神に人間の世界を振り向いてもらうこと)して帰ってもらう。このような意味の儀礼だが、小熊を檻の中に入れてその回りで手拍子をうちながら踊り、最後には花矢を射かけて小熊を殺すため、「野蛮な風習」として1955年3月に北海道庁より禁止が通達された。しかしその後2013年4月に「イヨマンテは祭式儀礼に該当する」と、禁止通達は撤廃された。

III. ピリカ ピリカ

「ピリカ」とは「良い、きれい」の意味。アイヌの歌で一番知られているものとして北海道各地で現在も歌い継がれている。わらべうたもあるが、雪村いずみの歌った芸術祭受賞レコードにより恋の歌として一時期流行歌となり、「ピリカ＝美人」の理解が流布した。この曲だけは、外国人宣教師がアイヌ部落の子供に教えた賛美歌がアイヌ式に転化したものと思われる。

IV. 日食月食に祈るうた

自然と親しむアイヌの人たちは、自然を人間と等しく魂を持ち生活する存在である「カムイ(神)」と見なしていた。日本や中国における「贄(にえ)」「(神に生き物の命を捧げること)」とは根本的に異なる思想である。アイヌの民話でまだ地上に何も無い頃のこと。天上界の神々が平和な大地を作るための会議をして国造りの神等を遣わしたところ、下界には既に悪魔や魔神達が暗黒の国を作って住み着いていた。太陽の神の光を嫌う魔神達は暗闇の夜に起き出しては神々の作る国土をたたき壊してしまうのが、神の子アイヌ・ラックルを中心としてそれが退けられた。もし「太陽の神の光」が失われれば反自然の存在である魔神達の跳梁する世界が再びやってくるわけであり、日食や月食、特に日食で天地が暗くなるときの恐怖には想像を絶するものがあつたのだろう。

V. 恋歌

「ヤイ・サマ・ネナ」は「私は自分の心を歌います」の意。夜の語りや歌いの集いの場で誰かが個人的な感情を旋律をつけて吐露するのが「ヤイサマ」であり、「ヤイ・サマ・ネナ」はそれを促す言葉でもある。この「ヤイサマ」は文字通り恋歌なのだが、和人により強制労働に駆り出されて引き裂かれた男女の心が背後には隠されている。アイヌへの和人の虐待を痛烈に物語るものとして、寛政時代の2000人から60年後の安政時代の700人程までのアイヌの人口の減少という事実も残るが、そうした虐待の生み出した恋歌はアイヌに数々伝わっている。

VI. リムセ(輪舞)

この曲は近藤氏の編曲指揮の下に1958年春にNHK札幌放送合唱団により初放送され、1959年春、ウィーン少年合唱団来日時、札幌で団員に紹介され指揮者マイヤー氏を通じて合唱団に献曲された。清水脩のメモには「熊祭りや祝の時に円く輪になって踊りながら歌う。源歌は3部または4部の合唱となっている。リズムの変化を充分に出すこと」とある。「囃し言葉」が主で歌詞の正確な意味はつかめないが、アイヌの人々のコーラスの伝統の一面が味わえる。





◆部長:塩澤修平 ◆顧問:福岡正夫／神谷傳造
◆正指揮者:佐藤正浩 ◆ヴォイストレーナー:小貫岩夫

ワグネル・ソサィエティーは、1901年に創立された慶應義塾の音楽団体です。その名称は、近代楽壇に一大生面を開いたりヒャルト・ワーグナーを敬慕してつけられたものであり、音楽学校以外ではわが国初の学生音楽団体として発足しました。そしてその一角を占めるのが、私ども慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団です。

アンサンブルにおいて一音の妥協も許さないという音楽に対する真摯な姿勢は、創立以来今日に至るまで脈々と受け継がれてきました。こうした日々の努力とそれに裏付けられた自信が、より高水準な音楽の追求を可能にしていると言えます。新入団員の多くが合唱経験を持たないという事実からも判断されるように、当団は常に自主性を尊重し、地道に自己鍛錬に励んでおります。1年生から4年生までが時にぶつかりながらも支え合い、一丸となって音楽を作り上げています。

現在の活動は、東京六大学合唱連盟定期演奏会・東西四大学合唱演奏会・単独の定期演奏会を柱に、塾内行事への参加、国内外の演奏旅行、企業やホテルなどからの依頼を受けての演奏など多岐にわたっております。また2014年には上田真樹先生作曲の「男声合唱とピアノのための組曲『鎮魂の賦』」を、2016年には松本望先生作曲の「二つの祈りの音楽～男声合唱とピアノ連弾のための～」をそれぞれ定期演奏会にて男声委嘱初演いたしました。従来のレパートリーを引き継ぐと同時に、新しい曲の開拓にも意欲的に取り組んでおります。

今後も、弛まぬ努力で最高品質の音楽を追求していく当団の活躍にご期待ください。

Top Tenor

◎○鴨井 秀和(商 4)県立半田
亀井 慶輔(法法4)慶應義塾
別府 洸太(法法3)慶應義塾
横山 悠河(商 3)八千代松陰
南 祥悟(経済2)慶應志木
山村 玲音(経済2)県立浦和
上林 柚月(経済2)慶應志木
菊地 敬(理工2)県立福島
木暮 蒼真(理工2)慶應志木

Second Tenor

○関 将希(理工4)慶應志木
☆島田 莉生(法法4)慶應志木
仲田 知史(経済4)慶應志木
守屋 瞭(商 4)県立平塚湘南
清水 俊宏(経済4)慶應志木
野口 直杜(商 4)大宮開成
久保田 悠介(理工3)県立緑岡
香山 天俊(文 2)國學院久我山
岡村 奏知(理工2)県立川和

Baritone

○西村 正樹(文 4)県立浦和
小山 直也(法法4)東大寺学園
名川 武志(理工4)渋谷教育学園渋谷
高橋 麦(理工3)県立生田
兵藤 直哉(文 3)秀光中等教育学校
山田 和司(文 3)東京都市大付属
西田 有輝(商 2)洛星
城台 俊(文 2)慶應志木
長谷川広樹(経済2)桐光学園

Bass

○戸田 光祐(経済4)慶應志木
秋葉 忠孝(法法4)修道
上水流将吾(理工4)県立湘南
谷口 雄太(文 3)慶應志木
鶴岡航太郎(薬 3)渋谷教育学園幕張
山内 祥平(理工3)県立湘南
山室 尚貴(法法3)慶應義塾
菅沼 啓紀(総合2)県立熊谷

☆:責任者
◎:学生指揮者
○:パートリーダー

Trinklieder und Lied der Freundschaft~「酒と友情」

1. Wein und Liebe(ワインと恋)
2. Liebe und Wein(恋とワイン)
3. Des Hauptmanns Wunsch(大尉の願い)
4. Lied der Freundschaft(友情の歌)

作曲: Franz Schubert
作曲: Felix Mendelssohn
作曲: Albert Lortzing
作曲: Richard Strauss
指揮: 佐藤正浩

◆曲目解説

1. 作品の時代背景について — 音楽界の革命、ロマン主義 —

現代を生きる私たちは、音楽を聴くとき好きなジャンル、好きな作曲家を自由に選択している。作曲家もそれぞれの感性に従って、自在に作曲する。しかし、一見当たり前に思えるこの事実は、音楽史を遡るとむしろ特殊なことだった。というのも、芸術作品には必ず注文主がいて、受注生産のような形をとっていたのだ。とりわけ、バロック時代から古典派時代にかけて（16世紀末～19世紀前半）は絶対主義王政の絶頂期で、音楽は戴冠式、婚礼、舞踏会、葬儀などの儀式行事で、王や貴族の威光を発揮する演出として用いられた。しかし、19世紀に入ると状況が一変する。作曲家は、貴族や教会をスポンサーとするのではなく、コンサートを催しその収入で生活するようになったのだ。ゆえに、作曲者は注文を待つ受動的なスタイルを止め、自らの意思をもった主体的な制作を始めた。結果として、独創的な作品が多く産み出された。この19世紀の主潮をロマン主義とよぶ。

本日お聴きいただくのはいずれもロマン主義の作品である。先述したように、ロマン主義時代は作曲家が独自の感性で音楽をぶつけ合った、いわば個の時代である。ゆえに、一言で特徴づけるのは難しい。ただし、敢えて言うならば、完璧なものを理想とした古典主義への反動である。過度な装飾や虚飾をなくし、感情と直感、個性、主観、強烈な表現に高い価値を見出した。そうした音楽の革命ともいべきロマン主義作品には、劇的なエネルギーが溢れている。

今回は4作品に「酒と友情の歌」を取り上げる。酔いの力とは不思議なもので、喜怒哀楽を丸ごとさらけ出してしまふ。それゆえ、感情表現を肯定するロマン主義とは相性が良かったのかも知れない。いずれにせよ、それまで教会で神を讃えるために奏された音楽が、酒や友情という身近なものを題材に取り、世俗化されたことはまさに革新的である。前時代からの流れに真っ向から挑戦した音楽家たちによる革命に立ち会った当時の聴衆の熱狂を、私たちの演奏から感じて頂ければ幸いです。

2. 各作品の作曲家と表現上の特色

《Wein und Liebe》 Franz Schubert (1797-1828)

「歌曲王」と呼ばれる、リートや連作歌曲の第一人者。

自由な作曲スタイルからしばしば思いつくままに作曲したと評される。確かに自筆譜を見ても訂正が少なく、推敲の跡はあまり見られない。途中で放棄した未完の作品も多い。もちろん《魔王 Erjkönig》(1815) は4稿、《ます Die Forelle》(1816-21) は5稿残されるなど、改訂を重ねた作品もあるが、一方彼の友人の詩を用いた作品は改訂されることすらほとんどなく、改作された例は存在しない。彼は、友人などとシューベルトティアードと呼ばれるサークルを作っていて、仲間内の楽しみとして作曲したことも多かった。これは、音楽を献呈していた前時代からの脱皮をまさに象徴していて、制約から解放された彼の音楽は楽しい遊び心に満ちている。

本作の主題は「ワインと恋」で、Lebhaft 元気な活気に満ちて の指定で始まる。中間部の大胆な転調や、多用されるアクセント、幅の広い強弱変化は酔っぱらいの予測できない感情の起伏を表しているようで、曲中で多く用いられるフェルマータ（停止記号）からは、酔いの気まぐれが見て取れるようだ。後半に、速く Sehr schnell の指定が入ってから、ベースバリオンの同音連打は器乐的で、チェロやコントラバスのような音色で加速された音楽は勢いそのままにフィナーレを迎える。

《Liebe und Wein》 Felix Mendelssohn (1809-1847)

《交響曲3番 スコットランド》(1842) や《交響曲4番 イタリア》(1833) が代表作として挙げられるが、彼の特徴は標題音楽を多く作曲したことだ。標題音楽とは「スコットランド」や「イタリア」というタイトルをつけることで、具体的なイメージを聞き手に指定する音楽を言い、言葉を用いない純粋な器楽によって表現する絶対音楽と対立する。歌詞がついた合唱曲も標題音楽に含まれるため、標題音楽の第一人者である彼は同時に、合唱作品の名手といえるかもしれない（有名な合唱付き《交響曲2番》(1840) も作曲している）。加えて、精力的にバロック時代のバッハの作品を蘇演した（バッハの再発見）ことでも知られる彼は、幅広い顔ぶれを持つロマン派の諸作曲家の中で、比較的前時代の影響を多く受けた作曲家といえる。

本曲はソロとの掛け合いが最大の特徴である。加えて、どっしりとした4拍子から流れるような3連符まで変拍子が揺れ動く心情を巧みに表現する。一口に酔いと言っても高揚落胆と様々あるが、本曲では「愛の苦しみ」「恋の苦痛」を嘆きあふ。そう考えると、効果的に用いられるアクセントやさらに強い楔形アクセントは酔っぱらいが管を巻いているようで面白い。

《Des Hauptmanns Wunsch》 Albert Lortzing (1801-1851)

他の三作曲家と比べると日本での知名度はそう高くない作曲家ではあるが、彼の地元ドイツでは根強い人気を誇る。代表作には《ロシア皇帝と船大工 Zar und Zimmermann》(1837) などのコミックオペラが挙げられる。また本人も役者としての顔を持ち、テノールやバリトンを歌った。かのイタリアの大オペラ作曲家ヴェルディも自らバリトンを歌うことを生かして素晴らしい旋律を残したが、ロルツィングの合唱曲も同様、歌心に溢れている。

この曲では、流れるような上昇音形、下降音形が用いられ、感情の起伏が表現される。効果的なスタッカートや、輪唱のように追いかけてくるパート間の掛け合いが特徴。繰り返されるベースのパートソロにも注目して頂きたい。

《Lied der Freundschaft》 Richard Strauss (1864-1949)

後期ロマン派を代表する作曲家。《サロメ Salome》(1905) や《ナクソスの島のアリアドネ Ariadne auf Naxos》(1916) などのオペラや交響詩が有名である。ロマン派の特徴を敢えて言うならば劇的だが、それに深みを増した後期を代表する彼の作品はドラマティックそのものである。彼が多く用いた半音階進行による曇った音色は協和音の澄んだ音響と対比されニュアンスを富ませている。

この曲を見ても、各パートは予測しづらい無調的な和音進行をうねるように絡み合いながら進む。スラーやタイの指示が目立ち、これまでの3曲と比べても横に太く流れる作品である。ベースの最低音にはほとんど使われないlow C や low D が求められ、地を這うような低音が劇的さを増している。

本作は一転「友情」がテーマだ。悶えるような和音進行には、老人が一人佇み、とつとつと語っているような深みがある。一筋縄ではいかない人生の苦難を、余人をもって代えがたい友と乗り越え続けてきた友好の半生を、懐かしく想い出しているようだ。

3. おわりに

今回のステージにはロマン派の時代に産み出された、個性的な作品が集められた。各作曲家がそれぞれの理想を追求したことで、酒や恋の幻想は万華鏡のように多彩に映し出される。偉大な音楽家たちが楽譜上に仕掛けた劇的表現の数々が、現代のホールでどのように響くのか、耳を傾けて頂きたい。

2018年6月24日 慶應義塾大学文学部3年 山田和司

参考文献一覧

・長沼由美・二藤宏美『大人の音楽史入門』(2007年、ヤマハミュージックメディア)
・村田千尋『シューベルト』(2004年、音楽之友社)

・岡田暁生『洋音楽史』(2013年、放送大学教材)
・浅香淳『R. シュトラウス』(1993年、音楽之友社)

同志社グリークラブ



◆顧問:岸基史 ◆技術顧問:伊東恵司
◆ヴォイストレーナー:北村敏則/大西凌

同志社グリークラブは1904年に創立された同志社大学の男声合唱団です。先輩方をはじめ多くの関係者のご尽力により、このクラブは114年間、合唱界をリードする存在として常に輝いてきました。創立当時はまだ「同志社グリークラブ」という名称は使っておらず、「クワイア」、「ダビデ・クワイア」と称しておりましたが、1911年に故片桐哲氏(後の同志社女子大学第2代学長)を名付け親として、現在の名称で呼ばれるようになりました。その時に歌われていたのが讃美歌317番「はなよりもめでにし」であり、これが同志社グリークラブの名のもとに歌われた最初の曲とされています。それ以来音楽への情熱を貫き、「椰子の実」の作曲者として知られる故大中寅二氏、音楽評論家の故日下部吉彦氏、合唱指揮者の浅井敬壹氏など数多くの優れた音楽家を輩出して参りました。

2018年現在、東西四大学合唱演奏会、クリスマス・イヴに行う全同志社メサイア演奏会、一年の集大成である定期演奏会を中心として、全日本合唱コンクール、国内外への演奏旅行、テレビ出演等、多岐にわたって活動しています。このような幅広い活動ができますのも、私達の活躍に期待を寄せてくださる多くの方々のご支援の賜物にほかなりません。今後とも私たちは、100年以上もの間大切に受け継がれて参りました「聴衆と一体となった音楽」という同志社グリークラブの精神を失うことなく、常に挑戦する合唱団として、より一層邁進して参ります。

Top Tenor

○遠藤 優己(商 4)花園
片岡 良介(理工4)関西
☆森 一就(社会4)成城
佐々木周平(文 4)東福岡
阿部 亮一(法 3)岡山朝日
濱田 尚晃(社会3)東大谷
川崎 克之(社会3)磐田西
古川 智也(文 2)諏訪清陵
吉本 泰(経済2)高崎
片平 颯太(心理1)函館ラサール

Second Tenor

民秋 駿(理工4)光泉
○脇岡 碧(経済4)基町
犬丸 和音(社会3)初芝富田林
村津 耕平(理工3)開明
西堂 哲史(理工3)須磨学園
佐藤 宏樹(法 3)清風
高橋 佑資(理工3)豊田西
松田 耕明(文 2)高志
池上 裕(理工1)近大付属和歌山

Baritone

千代 恵大(経済4)洛星
宮本 真生(理工4)東大寺学園
◎○八木 和貴(理工4)自由が丘
井出 輝(経済3)熊谷
磯部隆之介(理工3)浜松学芸
油屋 貴晴(法 2)東山
小倉 寛大(文 2)所沢北
奥野 真(法 2)浪速

Bass

亀崎 裕貴(経済4)八代
○奥山 達矢(法 4)熊谷
細田 純也(社会3)魚津
白井 直樹(理工3)大野
佐藤 諒一(理工2)同志社国際
富岡 佑央(文情2)虎姫
塚越 健(理工2)同志社国際
上原 拓巳(政策2)富士
藤尾 快(商 1)小野
真鍋 知浩(理工1)清風

専属マネージャー

井上 滯(社会1)稲毛
落合 里菜(社会1)初芝富田林
吉田 彩乃(社会1)京都八幡

☆:幹事長
◎:学生指揮者
○:パートリーダー

男声合唱とピアノのための 帆を上げよ、高く

作詞:みなづきみのり
作曲:信長貴富

指揮:伊東恵司
ピアノ:萩原吉樹

◆曲目解説

「男声合唱とピアノのための『帆を上げよ、高く』」は同志社グリークラブ第110回定期演奏会を記念し、書き下ろされた作品である。

3つの楽曲からなるが、それぞれが全く異なるキャラクターとモチーフを持ちながらバランスを保ち構成されている。

1. 翼よ、お前の空を翔ろ

この曲は「自由」をイメージして作られた詩に対して、鳥の躍動を想起させるよう、合唱・ピアノそれぞれに永続的な十六分音符が割り当てられている。

信長貴富氏はこの曲に対して「詩の内容をメロディにのせて伝えるという発想からは距離を置いている」と述べており、声楽的というよりも器乐的要素の強い曲となっている。

2. 春愁のサーカス

2曲目に配置されたこの曲は、ピエロの道化師としての側面を表すように、全体としてはスケルツォ風に作曲されている。その反面、心情を壮大に歌い上げる楽章も配置されており、目まぐるしい場面転換が特徴的な楽曲である。

3. 帆を上げよ、高く

国禁を犯してまでアメリカへと渡った同志社校祖新島襄になぞらえて、若者の旅立ちをテーマにして作曲された。この曲は、他2曲とは異なり現代的な手法はほとんど用いられず、古典的な楽想に重きを置き作曲されている。

曲中に挿入されている英語部分は、新島が同志社英学校の第1回卒業式にて卒業する若者たちに語った言葉の引用でもある。

2018年6月24日 八木和貴



【委嘱初演作品】

“若き芸術家とのダイアローグ”による
男声合唱とパーカッションとナレーターのための

エスノ・ラップ・ミサ Ethno-Rap-Mass

作詞：みなづきみのり
作曲：千原英喜

指揮：伊東恵司
パーカッション：樽井美咲／高田汐莉
ナレーター：小貫岩夫

◆見上げるものにのみ再び蒼空は開く～メッセージに代えて

私は大学の頃、入学と同時に読んだジェイムズ・ジョイスの作品によって、神話と私たちの生きる世界との混濁した時空に空想の羽を広げていました。文字通り「翼」はそれ以来の私のテーマでもあります。古代ギリシャの神話において、自らの力を過信して舞い上がったイカロスは天罰を受けるように失墜します。エピファニーによって神話を越えて飛翔するはずだったダブリンの若き芸術家も失墜する運命を辿ることになります。繰り返すこのテーマのことを考えてきた私は、いつの間にか年長者となり、そこに父親世代からの寛容と再チャレンジを促す対話のメッセージを与えてみたのでした。「見上げるものに再び蒼空は開かれる」と。

驚くべきことに、千原英喜先生の手によって言葉には全く別の新しい生命が与えられました。まるで翼が海を飛び越え、別の大陸を飛翔しているかのように。そして私の最も愛する場である「東西四連」において現代の若者たちによって歌われます。歌声は時空を越えて不滅の印象を刻んでくれることでしょう。

若者とは…、青春時代とは、挫折を越えて生きるかけがえのない時間のことであり、歌とはそれへの永遠の励ましなのです。

2018年6月24日 みなづきみのり



- I. Canticum (始原のうた)
- II. Shout : Slow-Rap (叫び・ゆっくりのラップ)
- III. Blues : Fast-Rap (ブルース・速いラップ)
- IV. Prayer : Medium (Tempo)-Rap (祈り・中くらいのはやさのラップ)
- V. Choral (終曲・そして物語は循環する)

◆ご挨拶と“若き芸術家とのダイアローグ”による
男声合唱とパーカッションとナレーターのための
エスノ・ラップ・ミサ Ethno-Rap-Massについて

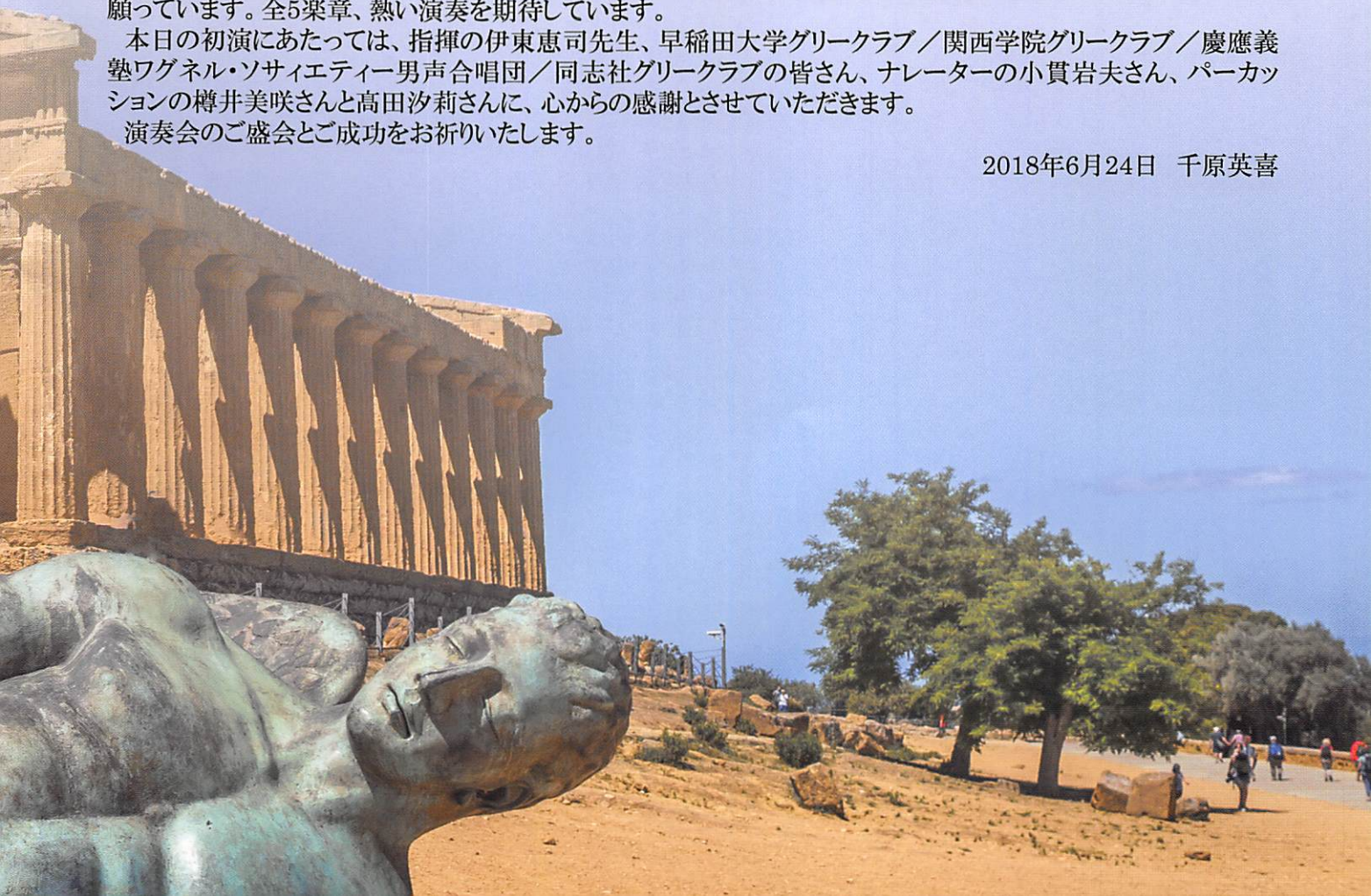
第67回東西四大学合唱演奏会の開催おめでとうございます。この演奏会のため新作委嘱をいただき大変光栄に存じます。

さてこの曲、Ethno-Rap-Mass(エスノ・ラップ・ミサ)の”Ethno”とは民族的、異国的の意ですが、ここでは特にアフリカ／インディアン系音楽を指すと捉えてください。”Rap”とは現代のヒップ・ホップ系音楽での歌唱法のひとつですが、ここでは”オーラルヒストリー／口頭伝承者”の意味合いを強くするものです。口頭伝承者とは、アフリカ／南米大陸の語り部たち、日本では「古事記」を口誦した稗田阿礼、また「大旅行紀」のアラビアのイブン・バットゥータ、「東方見聞録」のベネツィアのマルコ・ポーロらを想起いただければ良いでしょう。そしてみなづきみのりもこれら誉れ高い語り部のお一人となって壮大な世界を紡いでいって欲しいなあ～、というのがわたしの考えなのです。テキストにはミサ典礼文も出てきますが、主に合唱界における世界共通／普遍的祈りことば＝ラテン語聖歌、ということでこれを用いています。自由な精神でお聴きいただき、大きく想像力を羽ばたかせていただければ、と願っています。全5楽章、熱い演奏を期待しています。

本日の初演にあたっては、指揮の伊東恵司先生、早稲田大学グリークラブ／関西学院グリークラブ／慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団／同志社グリークラブの皆さん、ナレーターの小貫岩夫さん、パーカッションの樽井美咲さんと高田汐莉さんに、心からの感謝とさせていただきます。

演奏会のご盛会とご成功をお祈りいたします。

2018年6月24日 千原英喜



出演者・指導者紹介



❖ 小久保 大輔 (早稲田大学グリークラブ 指揮者)

1998年東京音楽大学器楽科卒業。指揮を桐田正章、汐澤安彦の各氏に、トランペットを林昭世氏に師事。

在学中よりアマチュアオーケストラの指導にあたり、2000年より東京文化会館オーケストラフェスティバルにおいて新日本交響楽団を指揮。

2001年横浜カントーレオペラ公演「毒か薬か物語」に「俊寛」を指揮。

同年、20世紀音楽の研究・演奏団体「ガレリア」を設立、2004年からはプロ吹奏楽団ガレリアウインドオーケストラとしても活動を展開させた。

2009年より劇団四季において「ウエストサイド物語」「サウンド・オブ・ミュージック」「オペラ座の怪人」を指揮。

現在、マルティナショナルプラスアンサンブル音楽監督、横浜ルミナスコール常任指揮者。鎌ヶ谷フィルハーモニック管弦楽団・ラスベート交響楽団・藤沢福音コール・東京農業大学全学応援団吹奏楽部各指揮者。



❖ 広瀬 康夫 (関西学院グリークラブ 指揮者)

神戸市出身。関西学院大学を卒業。関西学院に勤務し、グリークラブはじめ多くの合唱団の指導に当たるとともに合唱連盟ほかの講師・審査員を務める。カルテットやソリストとして歌唱活動も行。BHS (Barbershop Harmony Society) に登録し、日本でのバーバーショップハーモニーの普及に努める。

故北村協一氏に指揮法を、大久保昭男氏、井上和世氏に声楽を、Egisto Matteucci氏に教会音楽及び合唱指導を師事。バーバーショップ歌唱ではJames Henry氏、Rich Knight氏の個人指導を受ける。現在、関西学院グリークラブ技術顧問、新月会指揮者・副会長、コール・セコインデ常任指揮者、金沢メンネルコール客演指揮者、九州フレッシュメンコア・テクニカルアドバイザー、グリークラブ香川技術顧問、日本男声合唱協会(JAMCA)個人会員、平成指揮者十人の会同人、BHS(本部アメリカ)会員。



❖ 佐藤 正浩 (慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団 指揮者)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。ジュリアード音楽院ピアノ伴奏科修士課程修了。

1992年、サンフランシスコ・オペラのオーディションに合格、専属ピアニストとして研鑽を積む。1995年、ケント・ナガノ氏の招きでリヨン国立歌劇場の首席コレペティートルに就任し、2つの世界初演を含む20を超える作品の公演に参加し、多くの指揮者、歌手から絶大な信頼を得る。以降ナガノ氏、ゲルギエフ氏、チョン・ミンフン氏他のアシスタントとして、パリ・シャトレ座、ラヴェンナ音楽祭、ウィーン芸術週間などで活躍。同時に指揮者として活動を開始し1999年、イギリス・ダーティントン音楽祭で「イドメネオ」を指揮しデビュー。翌2000年には再び同音楽祭に招かれ「ナクソス島のアリアドネ」を指揮したほか、新国立劇場で「オルフェオとエウリディーチェ」を指揮し日本デビューを果たし、一躍脚光を浴びる。

その後も日生劇場「カルメン」、新国立劇場「トスカ」、藤原歌劇団「愛の妙薬」、東京オペラプロデュース「放蕩者のなりゆき」、いずみホール「ランスへの旅」等を指揮し注目を集める。2008年から和光市にてヴェルディ・プロジェクトを開始し、第一作目の「ナブッコ」で三菱UFJ信託音楽賞を受賞、東京室内歌劇場「人間の声」「マノンの肖像」、ひろしまオペラルネッサンス「カルメル会修道女の対話」「カルメン」、東京芸術劇場「ドン・カルロス」(仏語版日本初演)「サムソンとデリラ」など、フランスオペラの指揮に対する評価は高い。

2012年、白虎隊をテーマにしたオペラ「白虎」(宮本益光台本/加藤昌則作曲)を会津若松で初演し佐川吉男音楽賞を受賞した。この作品は、戊辰戦争終結150年を記念し今年7月に再演される予定である。一昨年は藤原歌劇団「椿姫」を、昨年は同団「セビリアの理髪師」を、また今年は「真珠採り」(東京芸術劇場)を指揮し大成功を収める。

これまでに読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪センチュリー交響楽団、広島交響楽団等を指揮。また、自身の主催するオーケストラ、Orchestre "Les Champs-Lyrics"、The Opera Bandを設立し活動している。愛知県立芸術大学、昭和音楽大学大学院講師。



❖伊東 恵司 (同志社グリークラブ・合同ステージ 指揮者)

京都市在住。児童・混声・女声・男声…あらゆる形式・ジャンルの合唱指導を行い、全日本合唱コンクール・宝塚国際室内合唱コンクール等でグランプリ、金賞、特別賞を多数受賞。世界合唱シンポジウムでは2度にわたり(ソウル・バルセロナ)招待演奏団体に選出される等、海外公演も多数。現在は全国各所で講習会講師や審査員を務めるだけでなく「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル(京都)」「コーラスめっせ(大阪)」の主宰や「世代間を結ぶわらべうたプロジェクト」「小中高の音楽教師向け講習会」の企画等、合唱の広がりを目指した活動で各方面の注目を集めている。日本合唱指揮者協会理事、全日本合唱連盟子どもコーラス委員。

ブレーン株式会社より「合唱のイントロダクション」、カワイ出版より「スチューデントソングブック(1・2)」「合唱エクササイズ(運営編・育成編)」を上梓。また、「みなづきみのり」のペンネームで作詞活動を展開。自ら創作と構成を担当する合唱物語という形態も含めて、松下耕、千原英喜、信長貴富、相澤直人等の作曲家により多数の曲が作られている。



❖清水 新 (早稲田大学グリークラブ ピアニスト)

神奈川県出身。ピアノを篠崎眞佐子、野村アキ、拜田正機、三木香代の各氏に、指揮法を永井宏に師事。国立音楽大学附属音楽学校音楽科を経て、同大音楽部器楽科ピアノ専攻を卒業後、同大大学院音楽研究科器楽専攻を修了。2009年より、同大声楽専修による「国立音楽大学合唱団」のピアニストとして、準メルクル、パーヴォ・ヤルヴィ、下野竜也などの内外の指揮者と共に音楽づくりを行う。

2013年、サントリーホール「レインボウ21」にて指揮者として出演。

現在、国立音楽大学合唱団 Kammer Chor 指揮者。コンツェントゥス・ムジクス東京、オイレンシュピーゲル、立川市民オペラ各ピアニスト。練馬区民合唱団副指揮者。

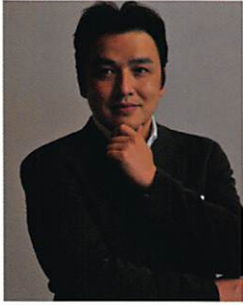


❖萩原 吉樹 (同志社グリークラブ ピアニスト)

12歳よりピアノを始める。京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業後、奨学金を得てワイオミング州立大学大大学院 Performer's Certificate 修了。その後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ヒルトンヘッド・アイランド国際ピアノコンクールにおいてディプロマ賞を受賞。平和堂財団より芸術奨励賞を受賞。

室内楽、歌曲伴奏、ソロ、オーケストラ鍵盤楽器奏者として、ピアノが関係する多くの現場で活動中。また近年、グランドオペラをモノオペラ風にリダクションする試み、ジャズピアニストとのピアノデュオ、オーケストラ作品を室内楽に編曲しナレーションとコラボさせ、幅広く普及させる活動など音楽分野における多言論者を目指す様々なコンサート企画・演奏に関わっている。

ピアノを椿久美子、田隅靖子、Gary Smartの各氏に師事。パイプオルガンをMary Jones氏に師事。元神戸市混声合唱団ピアニスト。現在、滋賀県立石山高等学校音楽科、京都女子大学非常勤講師。



❖ 小貫 岩夫

(合同ステージ ナレーター、関西学院グリークラブ／慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団 ヴォイストレーナー)

同志社大学卒業後、大阪音楽大学卒業。

同志社時代はグリークラブに所属し、ソリストとして一時代を築く。

音大在学中の95年「魔笛」タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムと共演しデビュー。この成功により翌年、ケムニッツ市立歌劇場(ドイツ)に招聘出演し地元紙より好評を得る。

文化庁オペラ研修所第11期修了。98年度文化庁派遣でミラノへ留学。

帰国後数々のコンクールで優勝・入選し、二期会、新国立劇場を中心に活躍。2017年、2010年二期会「魔笛」タミーノ役(実相寺昭雄演出11年佐渡裕プロデュース「こうもり」アルフレード役などで喝采を浴びた。近年は立て続けに二期会のオペレッタで主役を歌い、なくてはならない存在となっている。

コンサートでも、主要オケとの共演で高い評価を得ている他、テレビ・ラジオにも度々出演。2010年から毎年、東京と大阪でリサイタルを開催し好評を得ている。

2013年天皇皇后両陛下御親覧の舞踏会で演奏しお言葉を賜る他、フィレンツェではイタリア元首相夫妻主催のコンサートに招かれた。

合唱の指導者としても関西学院グリークラブのほか慶應ワグネル・ソサィエティー男声合唱団、慶應ワグネル・ソサィエティー男声合唱団OB、立教大学グリークラブ、同志社グリークラブOBシンガーズ(DOBS)などのヴォイストレーナー、また大阪外国語大学グリークラブOB合唱団(東京)の指揮者として活動している。

二期会会員。



❖ 樽井 美咲

(合同ステージ パーカッショニスト)

京都市立芸術大学管打楽専攻を首席で卒業。卒業に際し京都市長賞を受賞。同大学卒業演奏会、打楽器新人演奏会等に出演。第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選、第一回ウーヴェルチュールコンサート最優秀賞受賞。マリンバソリストとしてOsaka Shion Wind Orchestraと共演。一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団正団員。現在はフリー打楽器奏者として様々な分野で活動中。



❖ 高田 汐莉

(合同ステージ パーカッショニスト)

京都市立芸術大学卒業。陸上自衛隊第3音楽隊を経て、現在関西を中心にオーケストラ、吹奏楽、アンサンブルなどの演奏活動を行う。打楽器を渡辺有希子、宅間斉、山本毅、堀内吉昌、マリンバを伊藤朱美子、名倉誠人、小森邦彦、各氏に師事。



❖ 和田 ひでき (早稲田大学グリークラブ ヴォイストレーナー)

早稲田大学第一文学部哲学科卒。在学中はグリークラブに所属、パートリーダーを務めた。日本オペラ振興会育成部修了。

オペラ出演は既に60作品を越え、最近の主な出演は、千住明「万葉集」シューマン「ゲノフェーファ」カッチーニ「エウリディーチェ」(佐川吉男音楽賞受賞)マスネ「グリゼリデイス」(三菱UFJ信託音楽賞奨励賞受賞)など。俳優としても活躍し、ミュージカル「恋娘近松合戦!」「夏花火♥恋名残」「Into the woods」「Company」ストラヴィンスキー「兵士の物語」兵士役、映画「亭主調理法」亭主役などで好評を博し、古楽からミュージカルまで、幅広いジャンルで活躍している。また仏語の字幕翻訳スタッフとしても活動、METライブビューイング、パリオペラ座来日公演などを担当、翻訳作品は40を越える。

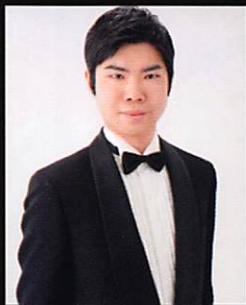
近年は日本語訳詞も手掛け、ラヴェル「子供と魔法」の訳詞が小澤征爾指揮で上演された。その他仏語ディクション指導、合唱指導など多彩な活動を展開している。2003年パリ留学。同年ガスコーニュ国際声楽コンクールオペラ部門ファイナリスト。



❖ 北村 敏則 (同志社グリークラブ ヴォイストレーナー)

京都市立芸術大学声楽専攻卒業。同大学院修了後ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞を受賞。第2回日本シューベルト教会(J.S.G)国際歌曲コンクール第1位及び聴衆審査特別賞。第6回ボルツァーノ(北イタリア)歌曲コンクール第1位及びアダ・ヴェルバ賞受賞。第1回青山音楽賞。京都市芸術新人賞受賞。

現在、堺市新人演奏会及び東京国際声楽コンクール審査員、関西二期会会員、日本シューベルト教会会員、京都市立芸術大学教授。



❖ 大西 凌 (同志社グリークラブ ヴォイストレーナー)

京都市立芸術大学卒業。卒業時に卒業演奏会に出演。同大学大学院修士課程修了。オペラではモーツァルト「フィガロの結婚」フィガロ、バルトロ、「ドンジョバンニ」マゼット、騎士長、「コジ・ファン・トゥッテ」ドンアルフォンソ、「魔笛」ザラストロ、ピゼー「カルメン」スニガ、プッチーニ「ラ・ボエーム」コッリーネ、木下牧子「不思議の国のアリス」笑い猫などを演じる。宗教曲においては、フォーレ「レクイエム」、関西音楽大学オーケストラフェスティバルにてモーツァルト「レクイエム」のソリストを務める。声楽を小木谷好美、北村敏則に師事。



創業111年目の挑戦。

早稲田大学グリークラブは今宵、初演から40年の時を経て、改めて『岬の墓』と向き合います。この日のために、歌声をじっくりと熟成させ、表現に磨きをかけて参りました。ワセグリの男たちが紡ぎ出す、一日限りの美しいハーモニーを、ぜひ心ゆくまでお楽しみください。

2018年6月24日(日)

限定販売。

岬の墓

純声大吟醸

製造元：早稲田大学グリークラブ
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-24-1学生会館E1114
TEL 03-3208-4100

※「岬の墓」は日本酒ではありません。男声合唱曲です。

え！？君もタダタケ好きなの！
僕と一緒にだね♪

キュート系王子様
岡田 峻典

バリトンの国・指揮者の王子。
普段は甘々キュート系。
指揮台に立つと怖怖大二系。
タダタケを愛し、タダタケに愛された男。

アイヌ系王子様

齋藤 匠

お前はピリカ、
俺はヌンケクスネン

トップの国・部長の王子。
カムイ学部で祈り続ける男。
赤ちゃんの○ぎ声が好き。
アナウンスは苦手。

プリプリ○リスナー系王子様

杉原 慶彦

どこで歌おうが、
俺の勝手だろ…
一緒に来たいのか？

ベースの国・パートリーダーの王子。
万物に対して心優しく、争いごとを好まない。
主人公のきらきらした笑顔に頬を赤く染めて
しまうのが悩み。

さもないね…

秋の夜の会話系王子様
阪本 知弥

トップの国・パートリーダーの王子。
前任の桑本貴之が逃亡を計ったため、
厚進。土の中は嫌らしい。彼の冬眠
は、終わらない。

グリー王国と眠れる

100人の王子様

俺様系王子様

石本 康輔

ずるい男だって分かってんの、
それでもお前、
俺が好きなんだ？

トップの国・人事の王子。
女性を見るとすぐに手を出し、
その魅力で必ず自分のものにする(大嘘)。
抵抗すると、燃えるタイプらしい。

阿部高和系王子様

立野 雅也

お前の震動、感じるぜ

セカンドの国・パートリーダーの王子。
美しいものが大好きで、部員の尻を愛でる
ことを生き甲斐としている。汚いものは許さない。

カット系王子様

吉田 拓海

お前……
ピッチ低いって
よく言われるだろ？

バリトンの国・パートリーダーの王子。
階名を振ることを生き甲斐とし、パート員
からの信頼も厚い。普段は面に出さないが、
音域は1.5オクターブしかない。

東西四連特別号！来場者無料配布版

● 上下水道出版

Wagnerian

わぐねりあん

No.2430ver

2018

6

“慶應坊や”

慶應義塾大学の男子学生。“ボーイ”って
いうとなんだかキラキラお洒落な感じが
するけど、僕たちワグネリアンは“坊や”
の方がお似合いだな。

がもい
せきま
マスクマン
とだっぷる

音楽業界激震！

人気アカペラユニット“技系143rd”

突然の解散宣言

音楽性の違いか？

彼らに限って女性問題は無いはず

技系143rd最終LIVE

「大人になれない僕たち(仮題)」

2018/12/15@東京芸術劇場

マネージャーに電撃取材！

「彼らは一つのチームでやって
いくには、あまりに“個”の力が
強過ぎた。」

《廃刊のお知らせ》

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。誠に勝手ながら、編集長
卒団のため平成31年3月をもちまして月刊ワグネリアンを廃刊とさせていただきます。
創刊から2年間、ご支援を賜り誠にありがとうございました。

部下呼び帰宅命令

「何もしないなら帰れ」



▲眠かっただけらしい

弊団幹事長が直属の部下を家に呼び、そのまま帰らせるという事案が発生。「何もしないなら帰れ」との発言があったという。後輩がスマートフォンをのぞいていると「先輩が説教中に携帯を見るな」と激怒。焼酎瓶を振り回し、帰宅を命じた。同席の団員からは「焼酎瓶ではなくビール瓶だった気がする」「カラオケのリモコンだった」「灰皿だったと思う」などの

証言が得られた。本案件を受け、森幹事はグリークラブ巡

達矢メンバー 復帰



▲問題となった写真

元アイドルの達矢メンバーがアイドルグループに復帰することを発表した。女装写真が流出して以来、達矢メンバーは活動を自粛、のちに脱退した。残ったメンバーからは「正直、僕は女装依存症だったと

業部長を辞任した。今後の見通しは立っていない。

おまけの数独コーナー

5	9	1	3		8	6	2	4
4					9			8
3					2			1
8					5			3
6	7	4	9		1			2
2			4					9
1			2					5
9			1					7
7	5	3	8					6

※下の解答を隠して挑戦してみよう!

9	1	2	7	6	8	5	9	4
4	7	8	5	9	1	9	2	6
5	6	3	4	9	2	8	7	1
6	4	1	9	8	7	5	3	2
2	8	5	1	3	6	7	4	9
3	9	7	5	2	4	6	1	8
1	5	6	2	7	9	4	8	3
8	3	4	6	1	5	2	9	7
7	2	9	8	4	3	1	6	5

解答

ヘッドライン

- ・ 副幹事長 MC中に噛む
- ・ 特集 酒癖の悪いグリーメン
- ・ 同グリー温泉部 新設へ

思っていました」との厳しいコメントがあったが、現在は和解。再スタートを切る。

ようになってからいいね数が50%上昇した。身長190センチは伊達じゃない!



凸凹コンビの身長差がツイッタに出る

いいね数5割アップ

広告

第67回 東西四大学合唱会



今後の演奏会予定

早稲田大学グリークラブ

2018年

- ◆10月7日(日) 早慶合同演奏会
於:第一生命ホール(東京)
- ◆12月28日(金) 第66回早稲田大学グリークラブ定期演奏会
於:すみだトリフォニーホール 大ホール(東京)

2019年

- ◆2月18日(月) 早稲田大学グリークラブ第68回送別演奏会
於:杉並公会堂 大ホール(東京)

関西学院グリークラブ

2018年

- ◆9月16日(日) 関西学院同窓会関空支部主催関西学院グリークラブ合唱コンサート
於:エブノ泉の森ホール 大ホール(大阪)
- ◆9月30日(日) 第49回グリークラブフェスティバル
於:関西学院 中央講堂(兵庫)
- ◆12月22日(土) 関西学院グリークラブ第27回高槻コンサート
於:高槻現代劇場 中ホール(大阪)

2019年

- ◆2月10日(日) 第87回関西学院グリークラブリサイタル
於:兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール(兵庫)

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

2018年

- ◆10月7日(日) 早慶合同演奏会
於:第一生命ホール(東京)
- ◆12月15日(土) 慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団第143回定期演奏会
於:東京芸術劇場 コンサートホール(東京)

同志社グリークラブ

2018年

- ◆8月22日(水) 三大学サマージョイントコンサート
於:東海市芸術劇場 大ホール(愛知)
- ◆12月24日(月) 第54回全同志社メサイア演奏会
於:京都コンサートホール 大ホール(京都)

2019年

- 建国記念の日
◆2月11日(月) 第114回同志社グリークラブ定期演奏会
於:京都コンサートホール 大ホール(京都)
- 建国記念の日
◆2月11日(月) 第114期卒団生のためのフェアウェルコンサート
於:同志社大学室町キャンパス 寒梅館ハーディーホール(京都)

スタッフロール



早稲田

鴨志田 優人

本日は演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。
東西屈指の四大学男声合唱団が今年は京都に集結し、それぞれの力を存分に発揮して演奏いたします。「今年の四連は違うぞ」と言ってもらえるよう各大学とも精一杯練習に励んできました。是非最後まで我々の音楽をお楽しみください。
また東西四連は来年東京で開催されます。東西四連は来年、再来年と更にパワーアップし続けていくことでしょう。今後の東西四連も是非ご期待ください。



関学

福田 幸大

本日は本演奏会にお越しいただきありがとうございます。
様々な方々のご支援を賜り、今年もこうして伝統ある東西四連が開催できたこと、大変光栄に存じます。各単独ステージから合同ステージまで精一杯演奏しますので、是非お楽しみください。
では、また来年もこのページでお会いしましょう!



慶應

西村 正樹

多くの方のご支援をいただき、今年も東西四連が開催されることを嬉しく思います。伝統に胡坐をかくのではなく、四大学の誇りと尊敬が交わる場としてレベルアップし続ける演奏会にしていきたいと思い準備に取り組んできました。
単独、合同ステージとも充実した演奏をお届けいたしますので、本日は最後までお楽しみください。



同志社

宮本 真生

平成は終わりを迎え、時代は変化していきます。しかし東西四連はいつも通り切磋琢磨し、いつも通り互いの威信をかけて演奏することでしょう。年に一度の男声合唱の集いをお楽しみ下さい。演奏会関係者そして御来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。
良ければ感想は「#67回四連」でお願いします。



音は人。音はその人の心の深さ、

広さ、美しさを伝え、

そして、その大切さを教えてくれる。

私達はその大切な音を壊さず歪めず、

そのまま守り、そっと後世に伝えます。



株式会社 サウンドスタジオOKA

京都市左京区下鴨半木町70 <http://www.ssoka.co.jp>

来年の公演情報

第68回東西四大学合唱演奏会

日時 2019年6月22日(土)
場所 すみだトリフォニーホール
大ホール

第67回 東西四大学合唱演奏会 パンフレット

2018年6月24日(日) 京都コンサートホール 大ホール

平成30年6月24日発行

❖主催 東西四大学合唱連盟
❖表紙絵 竹岡弥生
❖制作 同志社グリークラブパンフレット制作所
森一就・細田純也



平成 30 年 6 月 24 日

【お詫びと訂正】

本日は第 67 回東西四大学合唱演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。
本演奏会のパンフレットについて、以下の通り一部表記に誤りがございましたので、
ここに訂正しお詫び申し上げます。

1. P10「慶應義塾ワグネル・ソサィエティー」紹介ページ

＜誤＞正指揮者 佐藤正浩

＜正＞常任指揮者 佐藤正浩

2. P10「慶應義塾ワグネル・ソサィエティー」紹介ページ

オンステメンバースリストに誤りがあったため、以下に正式なものを記載します。

TOP TENOR

亀井 慶祐(法律 4) 慶應義塾
◎○鴨井 秀和(商 4) 県立半田
別府 洸太(法律 3) 慶應義塾
横山 悠河(商 3) 八千代松陰
上林 由月(経済 2) 慶應志木
菊地 敬(理工 2) 県立福島
木暮 蒼真(理工 2) 慶應志木
南 祥悟(経済 2) 慶應志木
直井 瑠汰(文 1) 県立浦和
藤巻 達郎(理工 1) 都立日比谷
村田 浩輔(政治 1) 聖光学院

SECOND TENOR

金子 晃久(法律 4) 県立甲府南
☆島田 莉生(法律 4) 慶應志木
清水 俊宏(経済 4) 慶應志木
○関 将希(理工 4) 慶應志木
仲田 知史(経済 4) 慶應志木
野口 直社(商 4) 大宮開成
守屋 瞭(商 4) 県立平塚江南
久保田悠介(理工 3) 県立緑岡
春田 大智(経済 3) 開成
福田 佑生(法律 3) 慶應志木
岡村 奏知(理工 2) 県立川和

BARITONE

小山 直也(法律 4) 東大寺学園
名川 武志(理工 4) 渋谷教育学園渋谷
○西村 正樹(文 4) 県立浦和
高橋 友(理工 3) 県立生田
兵藤 直哉(文 3) 秀光中等教育学校
山田 和司(文 3) 東京都大付属
城台 俊(文 2) 慶應志木
西田 有輝(商 2) 洛星
長谷川広樹(経済 2) 桐光学園
高橋 伽徳(理工 1) 県立松本深志
田中 裕大(理工 1) 県立上田

BASS

秋葉 忠孝(法律 4) 修道
上水流将吾(理工 4) 県立湘南
○戸田 光祐(経済 4) 慶應志木
馬場翔太郎(文 4) 都立八王子東
鶴岡航太郎(薬 3) 渋谷教育学園幕張
山内 祥平(理工 3) 県立湘南
山室 尚貴(法律 3) 慶應義塾
菅沼 啓紀(総合 2) 県立熊谷
森永 優暉(法律 2) 慶應志木
藤井 雅裕(経済 1) 県立浦和

☆：責任者

◎：学生指揮者

○：パートリーダー

三大学サマージョイントコンサート

混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ 金城学院大学グリークラブ 同志社グリークラブ

1st Stage 混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ

混声合唱のための「八重山・宮古の三つの島唄」より

狩俣ぬくいちゃ 作曲：松下耕

混声合唱とピアノのための組曲「歌が生まれるとき」より

沈黙、アポロンの竖琴 作曲：松本望 作詞：みなづきみのり

覚和歌子の詩による混声合唱曲集「等圧線」より

リフレイン 作曲：信長貴富 作詞：覚和歌子

指揮：谷敷優希、山崎浩 伴奏：小寺翔子

2nd Stage 金城学院大学グリークラブ

【本田 美奈子の世界】 作詞：岩谷時子 編曲：小林啓一

「TSUBASA」 作曲：太田美知彦

「Amazing Grace」 アメリカ伝承歌

「Jupiter」 作曲：G.Holst

「新世界より」 作曲：A.Dvořák

指揮：小原恒久 ピアノ：酒井志野

3rd Stage 同志社グリークラブ

男声合唱組曲「雪と花火」 作曲：多田武彦 作詞：北原白秋

指揮：八木和貴

4th Stage 合同ステージ

混声合唱組曲「私は空に手を触れる」

作曲：高嶋みどり 作詞：みなづきみのり

指揮：伊東恵司

伴奏：矢吹直美

2018. **8/22** Wed.

会場 東海市芸術劇場 大ホール

名鉄「太田川駅」南口直結(駅西側)

(名鉄「名古屋駅」から中部国際空港・河和・内海方面の特急で約15分)

劇場地下有料駐車場有り

※駐車場の収容台数に限りがありますので、できる限り公共交通機関でお越しください。

開場 18:00 開演 18:30

全席自由 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

各団連絡先	混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ	安藤	ticket.chorglanze@gmail.com
	金城学院大学グリークラブ	水谷	runchan921@gmail.com
	同志社グリークラブ	西堂	sat.dks31s@ezweb.ne.jp



水
8/29
京都

木
8/30
広島

土
9/01
豊洲

日
9/02
渋谷



ZERO8

JAPAN TOUR 2018

バーバーショップ界 新進気鋭の Zero8
北欧から待望の初来日！



150 SWEDEN-JAPAN
日本 スウェーデン 2018

主催 ICOT 東京国際合唱機構
International Choral Organization of Tokyo

協力 東京電化株式会社

後援 スウェーデン大使館

助成 スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団

ZERO8

The Real Group や Vocal Six など、世界で活躍するトップボーカルグループのコーチを務めた Doug Harrington の声掛けのもと、2007 年に結成。

2012 年の世界チャンピオン・バーバーショップカルテットである「Ringmasters」のリードを担当する Rasmus Krigström 氏が音楽監督を務める。

メンバーの多くはストックホルムの音楽学校を修了、または現在在学中であり、ジャズ、バーバーショップから伝統的なスウェーデンの合唱作品まで、幅広い音楽スタイルを高いレベルで歌いこなす。

国際バーバーショップ コンベンションで 5 位、欧州バーバーショップコンベンション、リミニ国際合唱コンクールで優勝。またア・カペラ CD を複数制作、スウェーデン国営テレビに複数回出演するなど、スウェーデンで最も高レベルかつ多彩な男声合唱団のひとつとして頭角を現している。

～演奏曲～

Traumlicht - R. Strauss

O Adonai - A.Pärt

Sure On This Shining Night - J.Giallombardo

Sakura - Japanese trad. arr. K.Matsushita

Going Home - A. Dvorak arr. D. Wright

Limu, Limu Lima - Swedish trad. arr. R. Krigström など



水
8/29
京都

Zero8 Japan Tour 2018 in 京都
開場 18:00 / 開演 18:30
京都府長岡京記念文化会館
歓迎演奏：関西学院グリークラブ（指揮 広瀬康夫）
主催：株式会社パナムジカ
全席自由 一般 2,500 円（当日 2,800 円）
学生 2,000 円（当日 2,300 円）
お問い合わせ：075-951-5829（パナムジカ ショールーム）

木
8/30
広島

Zero8 Japan Tour 2018 in 広島
開場 18:00 / 開演 18:30
広島県民文化センター
主催：ひろしま音楽鑑賞協会
制作：Harmony Fields
※チケットお申込は下記へお問い合わせ下さい
お問い合わせ：082-234-6262（ひろしま音楽鑑賞協会）

土
9/01
豊洲

Zero8 Japan Tour 2018 in 豊洲
開場 19:00 / 開演 19:30
豊洲シビックセンター ホール
歓迎演奏：Orpheus Singers（指揮 松下 耕）
主催：軽井沢国際合唱フェスティバル実行委員会
後援：東京都合唱連盟、JCDI 日本合唱指揮者協会
全席自由 一般 3,000 円 学生 2,000 円（当日 4,000 円）
お問い合わせ：042-786-6517（耕友会事務局）

日
9/02
渋谷

Zero8 Farewell Concert in SHIBUYA / TOKYO
開場 13:00 / 開演 13:30
渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール
歓迎演奏：東京バーバーズ
主催：東京バーバーズ、室内合唱団 VOX GAUDIOSA
全席自由 一般 3,000 円 学生 2,000 円（当日 3,500 円）
お問い合わせ：ttishida@sea.plala.or.jp（石田）

軽井沢で Zero8 のパフォーマンスに触れよう！



教会コンサート

8/24(金) 14:00 ~ 15:00
軽井沢聖パウロカトリック教会

プレミアムコンサート

8/26(日) 14:00 ~ 15:15
軽井沢大賀ホール メインホール

Zero8 と踊ろう

8/25(土) 10:30 ~ 12:30

Zero8 の指揮者ラスムスによるバーバーショップのワークショップ！
Zero8 の「Come Fly with Me (arr. Kevin Keller)」と一緒に歌って踊ろう♪
課題曲「Come Fly with Me (arr. Kevin Keller)」

バーバーショップクリニック

8/25(土) 14:00 ~ 16:00

2つのバーバーショップコーラスをクリニック形式で指導。
※参加コーラスの募集は締め切りました。聴講でご参加ください。

お問い合わせ

▲ 軽井沢国際合唱フェスティバル実行委員会
MAIL: karuizawachorfes@koyukai.info

WEB: karuizawa.koyukai.info

▲ 耕友会事務局

TEL: 042-786-6517

FAX: 042-786-6518

Zero8 ジャパンツアー 2018 関連の情報も随時更新中！
軽井沢国際合唱フェスティバル SNS をチェック！

Twitter: @KCF_koyukai
Facebook: @karuizawachoralfes

KICF で検索！

We are Kwansei!

第49回

関西学院グリークラブ フェスティバル

関西学院中学部グリークラブ／関西学院高等部グリークラブ
関西学院ウィメンズ・グリークラブ／関西学院グリークラブ／新月会

混声合同ステージ「祈りのうた」

男声合同ステージ「柳河風俗詩」

指揮／広瀬康夫

2018年9月30日(日)

開場／13:30 開演／14:00 入場無料

関西学院中央講堂

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

阪急電鉄今津線「甲東園駅」「仁川駅」より西へ徒歩約12分。

(大阪から阪急神戸線で約30分、同じく神戸三宮から約25分、ともに西宮北口駅で乗り換えて6番ホームまたは7番ホームから宝塚方面へ。)

「甲東園駅」よりバスで約5分、「関西学院前」下車。

※会場には駐車場がございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。



関西学院中学部グリークラブ



中学部グリークラブは1947年、旧制中学部グリークラブの流れを受け、高等部グリークラブとともに創部されました。1960年代頃までは、男子校であったにもかかわらず、ボーイソプラノを組み入れ混声合唱の形態で演奏するという特色ある活動もしていました。和歌山の南部や滋賀の近江兄弟社などへ演奏旅行に行く等、幅広い活動にも取り組んでいました。

2012年の中学部共学化に伴って、男声合唱団から混声合唱団となり、新たな歩みを始めました。同じく、混声合唱団として出発した高等部グリークラブとも、機会に応じて共に活動し、兵庫県合唱祭には中高合同で出演をしています。最近では、運動部を引退した3年生も多くメンバーに迎え、まずは、合唱の楽しさを経験し、それを生涯の友としてくれることを願って、入門的な活動を心がけています。

関西学院高等部グリークラブ



高等部グリークラブは旧制中学グリークラブの伝統を受け継ぎ、1948年に創部され、今年で創部71年目を迎えました。2015年度より高等部が共学校になるに伴い女声メンバーを加え、創部以来守ってきた男声合唱だけでなく、女声合唱、そして混声合唱にも本格的に取り組んでいます。

昨年度開催された兵庫県合唱コンクールでは、高等学校の部Bグループ(33名以上)に混声で出場し金賞を、関西合唱コンクールでは銀賞をいただきました。私たちが一番の目標としている定期演奏会、「第56回ファミリーコンサート」(2019年1月26日(土)川西市みつなかホール)の成功に向け、よりよい音づくりを目指し、演奏をお聴きくださる方々に喜んでいただけるように日々練習に励んでいます。

関西学院ウィメンズ・グリークラブ



関西学院ウィメンズ・グリークラブは、関西学院高等部グリークラブ出身の大学1年生が中心となり、本年(2018年)4月に結成された大学女声合唱団です。

関西学院グリークラブファミリーの新しい一員として活動をスタートし、本グリークラブフェスティバルにてデビューステージを迎えます。

関西学院グリークラブ



関西学院グリークラブは、関西学院創立から10年後の1899(明治32)年、神戸市郊外の原田の森(現在の王子公園付近)に誕生し、以来現在まで119年間にわたり活動を継続している日本で最も長い歴史を持つ男声合唱団です。音楽家の山田耕筈、林雄一郎、北村協一をはじめ、経済界にも多くの著名な人材を輩出しています。

コンクールにおいては戦前の競演会を含め1963年までに全国大会に18回出場、招待演奏2回など輝かしい実績を残しました。2017年度までの12年間で全国大会に11回出場し8年連続金賞受賞するなど、常に日本の合唱界をリードし続けています。

時代とともに学生の気質は変化する一方、その長い歴史の中で代々受け継がれてきたものが、クラブモットーである「メンタルハーモニー」です。部員一人ひとりの精神的調和を目指すことで生まれる独自のハーモニーは「関学トーン」と呼ばれ、今日に至ってもなお、多くの人々に愛されています。その精神を柱に、限られた時間の中で一つひとつの演奏会に真摯に取り組み、関西学院グリークラブの歴史に新しいページを作り上げるべく、日々不断の努力を重ねています。

新月会



1934年の9月、関西学院グリークラブOB数名が現役グリークラブを支えることを目的として神戸で会合をもち、OB会として発足、関西学院の校章をとって『新月会』と命名されました。

そして、11名のメンバーにより合唱団として歩みを進めるに当たり、林雄一郎を指揮者に選び、週一回の練習を開始しました。これは現在の大阪・東京での練習として受け継がれています。

今日、会員数は約1,600名(物故者含む)の大世帯となり、その中からは山田耕筈、由木康、津川圭一、林雄一郎、北村協一等の優れた音楽家を輩出している一方で多くの会員が各方面の合唱団において、指導者として音楽文化の普及と向上にたゆまぬ努力を続けています。また、関西学院グリークラブの支援にも力を注ぎ、技術・運営両面で強力なバックアップ体制を築いています。

広瀬康夫 ■指揮者■



神戸に生まれる。関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。グリークラブでは学生指揮者を務める。1987年より関西学院に勤務し、グリークラブをはじめ多くの合唱団の指導にあたり、全日本合唱連盟等の講師・審査員を務める。また、カルテットやソリストとしても活動する。1999年、BHS(Barbershop Harmony Society)に登録し、日本でのバーショップハーモニーの普及に努める。

故北村協一氏に指揮法を、大久保昭男氏、井上和世氏に声楽を、Egisto Matteucci氏に教会音楽および合唱指導を師事。現在、関西学院グリークラブ技術顧問、新月会指揮者・副会長、コール・セコインデ常任指揮者、金沢メンネルコール客演指揮者、九州フレッシュメンコア・テクニカルアドバイザー、グリークラブ香川技術顧問、日本男声合唱協会(JAMCA)個人会員、平成指揮者十人の会同人、BHS(本部アメリカ)会員。

関西学院グリークラブは2019年、創部120周年&U Boj 伝承100年を迎えます。

早慶合同演奏会

第1ステージ

慶應義塾

ワグネル・ソサイエティー
男声合唱団

男声合唱組曲

柳河風俗詩

作曲 多田武彦
指揮 嶋井秀和(学生)

第2ステージ

早稲田大学グリークラブ

男声合唱曲

岬の墓

作曲 團伊玖磨
編曲 福永陽一郎
指揮 田中渉(学生)

第3ステージ

早慶合同ステージ

男声合唱とピアノのための
シーラカンス日和

作曲 田中達也
指揮 嶋井秀和(学生)

入場料 1,000円(全席自由)

お問い合わせ

・早稲田

<http://www.wasedaglee.com>

03-3208-4100(事務所電話番号)

・慶應

<http://www.wagner-society.org>

2018年

10/7(日)

開場 13:30

開演 14:00

於：第一生命ホール

都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅より徒歩8分
(晴海トリトンスクエア内)

KWANSEI GAKUIN GLEE CLUB *Premium Concert*

関西学院グリークラブ プレミアムコンサート



第1部 関西学院グリークラブコレクション2018

- Die Lorelei (ジルヒャー作曲)
★ Die Nacht (シューベルト作曲)
Der Jäger Abschied (メンデルスゾーン作曲)
Beati Mortui (メンデルスゾーン作曲)
Ride the Chariot (黒人霊歌)
Rolling Home (シーシャンティ)
竹田の子守唄 (日本民謡)
男声合唱組曲『柳河風俗詩』より
「柳河」 (多田武彦作曲)
男声合唱のための『東海道中膝栗毛』より
★ 「お江戸日本橋／鹿島立ち」 (千原英喜作曲) ほか
★ は2018年度全日本合唱コンクール演奏予定曲

第2部 Barbershop Showtime!

- Tonight, tonight
Somewhere
Sing, Sing, Sing ほか

第3部 男声合唱組曲「アイヌのウポポ」 (近藤鏡二郎採譜／清水脩作曲)

指揮：広瀬康夫 (関西学院グリークラブ技術顧問)
岡田峻典 (関西学院グリークラブ学生指揮者)

2018 10/28 (日) イシハラホール
大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅徒歩すぐ

【お問い合わせ先・チケット販売】 関西学院グリークラブ

(TEL・FAX) 0798-52-6471 (E-mail) glee@kg-gee.gr.jp
(HP) <http://www/kg-gee.gr.jp/>

開場 13:30 開演 14:00
チケット／全席指定：3,000円

6月26日(火)より販売開始

■主催 株式会社 **ワキタ**

Profile



関西学院グリークラブ

関西学院グリークラブは、関西学院創立から10年後の1899(明治32)年、神戸市郊外の実田の森(現在の王子公園付近)に誕生し、以来現在まで119年間にわたり活動を継続している日本で最も長い歴史を持つ男声合唱団です。音楽家の山田耕筰、林雄一郎、北村協一をはじめ、経済界にも多くの著名な人材を輩出しています。

コンクールにおいては戦前の競演会を含め1963年までに全国大会に18回出場、招待演奏2回など輝かしい実績を残しました。2017年度までの12年間で全国大会に11回出場し8年連続金賞受賞するなど、常に日本の合唱界をリードし続けています。

時代とともに学生の気質は変化する一方、その長い歴史の中で代々受け継がれてきたものが、クラブモットーである「メンタルハーモニー」です。部員一人ひとりの精神的調和を目指すことで生まれる独自のハーモニーは「関学トーン」と呼ばれ、今日に至ってもなお、多くの人々に愛されています。その精神を柱に、限られた時間の中で一つひとつの演奏会に真摯に取り組み、関西学院グリークラブの歴史に新しいページを作り上げるべく、日々不断の努力を重ねています。



■指揮者■ 広瀬康夫

神戸に生まれる。関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。グリークラブでは学生指揮者を務める。1987年より関西学院に勤務し、グリークラブをはじめ多

くの合唱団の指導にあたり、全日本合唱連盟等の講師・審査員を務める。また、カルテットやソリストとしても活動する。

1999年、BHS (Barbershop Harmony Society) に登録し、日本でのバーバーショップハーモニーの普及に努める。

故北村協一氏に指揮法を、大久保昭男氏、井上和世氏に声楽を、Egisto Matteucci氏に教会音楽および合唱指導を師事。現在、関西学院グリークラブ技術顧問、新月会指揮者・副会長、コール・セコインデ常任指揮者、金沢メンネルコール客演指揮者、九州フレッシュメンコア・テクニカルアドバイザー、グリークラブ香川技術顧問、日本男声合唱協会(JAMCA) 個人会員、平成指揮者十人の会同人、BHS(本邦アメリカ) 会員。

至西梅田

● フェスティバルホール

● 大同生命 大阪本社

● 株式会社 **ワキタ** 本社

● イシハラホール 5-B出口上ル

至本町

土佐堀通

地下鉄四つ橋線

肥後橋駅

至梅田

地下鉄御堂筋線

淀屋橋駅

イシハラホール

大阪市西区江戸堀1-3-15 新石原ビル2F

地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 5-B出口、徒歩すぐ
地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 4番出口、西へ徒歩7分

www.facebook.com/ishihara.hall/

ワキタはイシハラホールの
扉を再び開きました。



株式会社 ワキタ

東京証券取引所一部上場
事業内容: 建機事業、商事事業、不動産事業
資本金: 138億2,187万円
<http://www.wakita.co.jp/>

KWANSEI GAKUIN GLEE CLUB *Premium Concert*

関西学院グリークラブ プレミアムコンサート



第1部 関西学院グリークラブコレクション2018

- Die Lorelei (ジルヒャー作曲)
★ Die Nacht (シューベルト作曲)
Der Jäger Abschied (メンデルスゾーン作曲)
Beati Mortui (メンデルスゾーン作曲)
Ride the Chariot (黒人霊歌)
Rolling Home (シーシャンティ)
竹田の子守唄 (日本民謡)
男声合唱組曲『柳河風俗詩』より
「柳河」 (多田武彦作曲)
男声合唱のための『東海道中膝栗毛』より
★「お江戸日本橋／鹿島立ち」(千原英喜作曲) ほか
★は2018年度全日本合唱コンクール演奏予定曲

第2部 Barbershop Showtime!

- Tonight, tonight
Somewhere
Sing, Sing, Sing ほか

第3部 男声合唱組曲「アイヌのウポポ」 (近藤鏡二郎採譜／清水脩作曲)

指揮：広瀬康夫 (関西学院グリークラブ技術顧問)
岡田峻典 (関西学院グリークラブ学生指揮者)



2018 10/28(日) イシハラホール
大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅徒歩すぐ

開場 13:30 開演 14:00
チケット／全席指定：3,000円

【お問い合わせ先・チケット販売】 関西学院グリークラブ

(TEL・FAX) 0798-52-6471 (E-mail) glee@kg-gee.gr.jp
(HP) <http://www/kg-gee.gr.jp/>

6月26日(火)より販売開始

■主催 株式会社 **ワキタ**

Profile



関西学院グリークラブ

関西学院グリークラブは、関西学院創立から10年後の1899(明治32)年、神戸市郊外の実田の森(現在の王子公園付近)に誕生し、以来現在まで119年間にわたり活動を継続している日本で最も長い歴史を持つ男声合唱団です。音楽家の山田耕筰、林雄一郎、北村協一をはじめ、経済界にも多くの著名な人材を輩出しています。

コンクールにおいては戦前の競演会を含め1963年までに全国大会に18回出場、招待演奏2回など輝かしい実績を残しました。2017年度までの12年間で全国大会に11回出場し8年連続金賞受賞するなど、常に日本の合唱界をリードし続けています。

時代とともに学生の気質は変化する一方、その長い歴史の中で代々受け継がれてきたものが、クラブモットーである「メンタルハーモニー」です。部員一人ひとりの精神的調和を目指すことで生まれる独自のハーモニーは「関学トーン」と呼ばれ、今日に至ってもなお、多くの人々に愛されています。その精神を柱に、限られた時間の中で一つひとつの演奏会に真摯に取り組み、関西学院グリークラブの歴史に新しいページを作り上げるべく、日々不断の努力を重ねています。



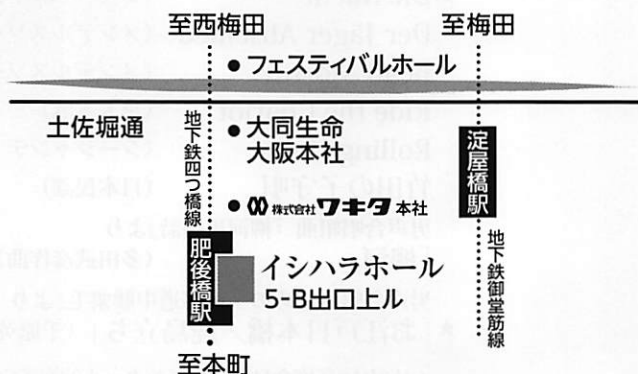
■指揮者■ 広瀬康夫

神戸に生まれる。関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。グリークラブでは学生指揮者を務める。1987年より関西学院に勤務し、グリークラブをはじめ多

くの合唱団の指導にあたりとともに全日本合唱連盟等の講師・審査員を務める。また、カルテットやソリストとしても活動する。

1999年、BHS (Barbershop Harmony Society) に登録し、日本でのバーバーショップハーモニーの普及に努める。

故北村協一氏に指揮法を、大久保昭男氏、井上和世氏に声楽を、Egisto Matteucci氏に教会音楽および合唱指導を師事。現在、関西学院グリークラブ技術顧問、新月会指揮者・副会長、コール・セコインデ常任指揮者、金沢メンネルコール客演指揮者、九州フレッシュメンコア・テクニカルアドバイザー、グリークラブ香川技術顧問、日本男声合唱協会(JAMCA) 個人会員、平成指揮者十人の会同人、BHS(本部アメリカ) 会員。



イシハラホール

大阪市西区江戸堀1-3-15 新石原ビル2F

地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 5-B出口、徒歩すぐ
地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 4番出口、西へ徒歩7分

www.facebook.com/ishihara.hall/

ワキタはイシハラホールの
扉を再び開きました。



株式会社 ワキタ

東京証券取引所一部上場
事業内容: 建機事業、商事事業、不動産事業
資本金: 138億2,187万円
<http://www.wakita.co.jp/>



第30回

コール・セコインデリサイタル

2018年12月9日(日) 午後1時30分開場 午後2時開演 関西学院中央講堂<入場無料>

MISSA SALVE REGINA PACIS

バーバーショップ・ショウタイム!

WELCOME CHRISTMAS

男声合唱組曲「三崎のうた」
「三崎のうた・第二」より

ゲスト：KALEIDOSCOPE
(混声バーバーショップ・カルテット)

STARGAZER
(男声バーバーショップ・カルテット)

指揮：広瀬康夫

オルガン：坂倉朗子



〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

阪急電鉄今津線「甲東園駅」「仁川駅」より西へ徒歩約12分

(大阪から阪急神戸線で約30分、同じく神戸三宮から約25分、ともに西宮北口駅で乗り換えて6番ホームまたは7番ホームから宝塚方面へ。)

「甲東園駅」よりバスで約5分、「関西学院前」下車

※会場には駐車場がございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい

コール・セコインデの歴史とご挨拶



今から37年前の1981年12月に誕生したコール・セコインデが第1回リサイタルを開催したのは、1984年3月のことでした。当時は冬にクリスマスコンサート、夏にリサイタルを開催することが多く、リサイタルはほぼ2年に1度の開催でした。1995年の第7回リサイタルから毎年12月の開催が定着しました。第1回リサイタルの頃に20歳代前半だったメンバーの平均年齢は今や還暦に近くなりましたが、男声合唱を愛する気持ちや歌への情熱はまだまだ旺盛です。メンバーもそれぞれに人生経験を積み重ねてきました。当初は、発表の場という面が強かったリサイタルですが、今ではお客様に思い切り楽しんで頂きたい、メンバーも一緒に楽しみたいという気持ちが強くなったような気がします。お客様に育てていただいたコール・セコインデの、第30回記念リサイタルへのご来場をメンバー一同、心よりお待ちしております。

コール・セコインデの詳しい情報はこちら

<http://www.angelfire.com/sc/secoinde/>

[facebook.com/chorsecoinde/](https://www.facebook.com/chorsecoinde/)

GUEST ゲスト

KALEIDOSCOPE カレイドスコープ



【テナー】廣瀬万佐子 【リード】坂口敏子 【バリトン】坂口和彦 【ベース】広瀬康夫

2002年、二組の夫婦で結成された日本初の混声バーバーショップ・カルテットです。神戸での活動開始以来、関西以外にも金沢・横浜・東京など日本各地で多くのステージに立たせて頂きました。2006年には、インディアナポリス市(インディアナ州・米)で開催されたバーバーショップ・ハーモニー国際大会でアメリカデビューを果たし、更に2009年にはアナハイム市(カリフォルニア州・米)にて再びステージのチャンス頂きました。Rich Knight氏、Jim Henry氏、Roger Ross氏に、バーバーショップ歌唱指導を受け、故Ruby Rhea氏にカレイドスコープの為にアレンジ曲を提供して貰うなど、米バーバーショップハーモニー協会本部とも交流しています。名前通り〈万華鏡〉の様に美しく変わってゆくハーモニーで、皆様に幸せな気分になって頂けるよう、日々研鑽を積んでいます。

STARGAZER スターゲイザー



【テナー】縣 和憲 【リード】広瀬康夫 【バリトン】村田牧人 【ベース】佐久間亮

2005年、バーバーショップハーモニーに魅せられた当時関西在住の4人で結成された男声アカペラカルテットです。

2012年に新テナーをメンバーに迎えて、関西2人静岡2人体制となり、同年ヒルトンプラザイーストアトリウムコンサートを皮切りに、各地で演奏活動を行っています。

2013年には東京男声合唱フェスティバルで人気投票第一位(56団体中)を獲得し、翌2014年に招待演奏を披露いたしました。2016年からは毎年全日本男声合唱フェスティバルにも出演し、機関誌「ハーモニー」にも取り上げられるなど好評を博しています。

完璧なハーモニーから生まれる倍音を追い求めながら歌を楽しんでいます。

MUSIC DIRECTOR

常任指揮者 広瀬康夫



神戸に生まれる。1987年より関西学院に勤務し、グリークラブをはじめ多くの合唱団の指導にあたりとともに、全日本合唱連盟などの講師・審査員を務める。またカルテットやソリストとしても活動する。

1999年、BHS (Barbershop Harmony Society) に登録し、日本でのバーバーショップハーモニーの普及に努める。

故北村協一氏に指揮法を、大久保昭男氏、井上和世氏に声楽を、Egisto Matteucci氏に教会音楽および合唱指導を師事。現在、関西学院グリークラブ技術顧問、新月会指揮者・副会長、コール・セコインデ常任指揮者、金沢メンネルコール客演指揮者、九州フレッシュメンコア；テクニカルアドバイザー、グリークラブ香川技術顧問、日本男声合唱協会(JAMCA)個人会員、平成指揮者十人の会同人、BHS(本部アメリカ)会員。

ORGANIST

オルガン 坂倉朗子



関西学院大学文学部英文学科卒業。オランダのアムステルダム・スウェーリング音楽院(現アムステルダム音楽院)オルガン科にて5年間学び、ディプロマを取得して同校を卒業。オルガンを、太宰まり、鈴木雅明、E.コーイマン、J.v.オートメルセンの各氏に師事した。

在欧中は、オランダ、ドイツで演奏活動を行うほか、ヨーロッパ各地のマスタークラスにも参加。J.ボワイエ、M.シャピュイ、H.フォーゲル、B.ヴィンセムス、P.ケー、A.マルコン、G.ボヴェラ各氏の指導を受け研鑽を積んだ。

帰国後は、ベガホール、LICはびきの、サラムンカホール、パルナソスホール、神戸松蔭女子学院大学、関西学院大学、明治学院大学、神戸国際大学、霊南坂教会、聖路加国際病院チャペル、啓明学院中学校・高等学校などが主催するコンサートシリーズに出演。

現在、関西学院大学オルガン講師、神戸改革派神学校オルガニスト・非常勤講師、松蔭中学高等学校オルガニスト。日本キリスト改革派神教会会員・オルガニスト。

早稲田大学グリークラブ 第66回定期演奏会

1st Stage

男声合唱組曲『草野心平の詩から・第三』

作詩：草野心平 作曲：多田武彦

指揮：田中渉(学生)

2nd Stage

『死にたくないから生きたときもあった。死なないから
生きたときもあった。生きたいから生きたときもあった。
しかし、生きずにはおれないから生きるときがあっても
よいのではないか。～山頭火の句による男声合唱のための～』【委嘱初演】

作曲・指揮：菅野由弘

能管：一噌幸弘 尺八：石垣征山 十三絃箏：後藤幹子 十七絃箏：平田紀子 琵琶：首藤久美子

3rd Stage

ワセグリ×ボニージャックス スペシャルステージ(仮)

出演：ボニージャックス

4th Stage

男声合唱とピアノのための『炎える母』

作詩：宗左近 作曲：荻久保和明

指揮：荻久保和明 ピアノ：中島剛

2018年

12月28日(金)

すみだトリフォニーホール大ホール

開場・開演時間未定

お問い合わせ▶▶

早稲田大学グリークラブ事務所

〒162-0052

東京都新宿区戸山1-24-1 学生会館E1114

TEL: 03-3208-4100 (月～土/10:40～16:00)※夏季休業、年末年始除く

公式HP <http://wasedaglee.com>

※チケット販売開始は9月頃
を予定いたしております。

※曲順・曲目は変更になる
場合がございます。また、
出演者に変更のある場合が
ございます。



—聴衆と一体となった音楽—

One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify; one lofty aim;
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!

第114回 同志社グリークラブ 定期演奏会

*The 114th Regular Concert of Doshisha Glee Club
February 11th, 2019*

【1957 年弊団初演作品】

男声合唱組曲「雪と花火」

北原白秋 作詩

多田武彦 作曲 他



【同日開催】

第 114 期卒団生のための
フェアウェルコンサート
於：同志社大学
寒梅館ハーディーホール
19 時頃開演予定

建国記念の日

2019 年 2 月 11 日 (月) お昼ごろより開演予定

会場：京都コンサートホール 大ホール

(京都市営地下鉄烏丸線『北山駅』より徒歩 5 分)

問合：千代 恵大(チーフマネージャー) Tel: 090-3429-7080 Mail: chiyo.d.gleebarimen@gmail.com

★ G.U. Choir

混声合唱組曲

方舟

作詩 大岡 信

作曲 木下 牧子

★ 同志社混声合唱団こまくさ

混声合唱組曲

朝のりレー

作詩 谷川 俊太郎

作曲 信長 貴富

★ 神戸大学混声合唱団アポロン

松下 耕

日本民謡作品集

作曲 松下 耕

★ 合同ステージ ★

混声合唱組曲

★ 星の旅 ★

作詩：谷川 俊太郎

作曲：森田 花央里

(2018年3月 G.U. Choir 委嘱初演作品)

★ みどりの窓 ★

作詩：竹久 夢二

作曲：森田 花央里

(joint concert 2018 記念新作委嘱初演)

指揮 山口 雄人 ピアノ 森田 花央里

Joint Concert 2018

-Ars novaを求めて-

★ 2018年 7月1日(日) ★

開場 14:15 開演 15:00 一般 2000円 学生 1000円

長岡京記念文化会館

阪急「長岡天神」 駅西口より徒歩6分
JR「長岡京」 駅西口より徒歩20分

後援 京都府合唱連盟・関西合唱連盟

問い合わせ jointconcert.2018@gmail.com twitter @2018_joicon

東京大学 コールアカデミー
音楽部合唱団

京都大学 グリークラブ

ジョイントコンサート

SUN.
2018. 7.1

14:00 開場 14:30 開演
全席自由 1000 円 当日券あり

京都市 呉竹文化センター

1st Stage

無伴奏男声合唱組曲

『いつからか野に立って』

作詩：高見 順 作曲：木下 牧子

指揮：飯田 令一（学生）

演奏：東京大学音楽部合唱団コールアカデミー

2nd Stage

男声合唱組曲『富士山』

作詩：草野 心平 作曲：多田 武彦

指揮：西垣 桂太（学生）

演奏：京都大学グリークラブ

3rd Stage

無伴奏男声合唱のための『優しき歌』

作詩：立原 道造 作曲：藤嶋 美穂

客演指揮：名島 啓太

演奏：両団合同

Joint Concert 2018

1st stage

甲南大学グリークラブ

指揮 林 大吾

さくらもこの詩による

無伴奏男声合唱曲集「ぜんぶここに」より

作詞 さくらもこ 作曲 相澤直人

ビール工場

変化

きもち

かゆい

ぜんぶ

2nd stage

神戸親和女子大学コーラス部

指揮 川下 真由

アラカルトステージ「巡り会えたから」
「ありがとう」

作詞作曲 水野良樹 編曲 相澤直人

ピアノ 小森萌花

「ほらね、」

作詞 いとうけいし 作曲 まつしたこう

ピアノ 井田朱音

星空に歌う想い

6th stage

合同ステージ

指揮 山口 英樹 ピアノ 三好 一花

混声合唱組曲「終わりのない歌」

作詞 銀色夏生 作曲 上田真樹

光よ そして緑

月の夜

強い感情が僕を襲った

終わりのない歌

君のそばで会おう

3rd stage

神戸女学院大学コーラス部

指揮 中島 ひかる ピアノ 精松 美沙

女声合唱とピアノのための

「この星の上で」より

作詞 谷川俊太郎 作曲 松下耕

はる

今年

5th stage

武庫川女子大学コーラス部

指揮 稲垣 歩 ピアノ 多田 秀子

アラカルトステージ「懐かしのNコン課題曲」

「メイプルシロップ」

作詞 穂村弘 作曲 松本望

「聞こえる」

作詞 岩間芳樹 作曲 新実徳英

「証」

作詞 山村隆太 作曲 阪井一生

編曲 加藤昌則

4th stage

神戸大学グリークラブ

指揮 稲本 哲也

男声合唱組曲「心象スケッチ」

詩 宮沢賢治 作曲 高田三郎

編曲 須賀敬一

水汲み

森

さっきは陽が

風がおもてで呼んでいる

日時 2018年7月7日(土)

場所 東りいたみホール

お問い合わせ先: 川越 翔晴 goe090608@gmail.com

入場無料(全席自由)

開場 17:00 開演 17:30



単独ステージ

関西学院大学混声合唱団エゴラド

指揮 鍛冶歩実 伴奏 上野順子

混声合唱のための「おらしょ」より

作曲 千原英喜

混声合唱とピアノのための「初心のうた」より

作曲 信長貴富 作詞 木島始

神戸大学混声合唱団エルデ

指揮 関原規晃

無伴奏混声合唱のための「朝の交響」

作曲 田中達也 作詞 田口犬男

パナソニック合唱団

指揮 本城正博

無伴奏宗教曲アラカルト

Laudamus te

作曲 Sven-David Sandström

O Crux

作曲 Knut Nystedt

等

Joint Concert 2018

合同ステージ

MOZART Requiem

7 / 8 (Sun)

指揮 本城正博

客演ピアノ 次郎丸智希

豊中市立文化芸術センター

開場 16 : 00 開演 16 : 30

入場料 1000 円

* 未就学児童の入場はご遠慮ください

お問い合わせ Mail : m-chorus@bea.hi-ho.ne.jp (パナソニック合唱団)

後援 : 兵庫県合唱連盟 大阪府合唱連盟 関西合唱連盟 JCD 日本合唱指揮者協会 合唱人集団「音楽樹」

MOZART Requiem

Requiem in d-Moll K. 626 は、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756-1791）が作曲したレクイエム（死者のためのミサ曲）。200年以上に亘って世界中で演奏され続け、フォーレ、ヴェルディのものと共に「三大レクイエム」と称される名曲中の名曲です。本作品はモーツァルトが *Lacrimosa*（涙の日）の作曲途中で他界し、弟子のジュースマイヤー（1766-1803）により補筆完成されたこと、そしてそれ故今なお多くの謎や議論を呼び続けていることでも有名です。古典派とバロックの響きを融合した独特の世界の魅力はもちろん、*Introitus*（入祭唱）で提示される「レクイエムの主題」と呼ばれる独特の旋律線が形を変えながら、彼の死後に書かれた部分も含め、作品全体に出現します。死してなお、天才的な音楽性を譜面に残し続けたモーツァルト。まさに神秘の大曲ともいえる「モツレク」を多方面で活躍されているピアニスト、次郎丸智希氏の伴奏でお届けいたします。



合同指揮者 本城正博

大阪大学卒業。発声法を桜井吉明、福島慶子、小玉晃の各氏、指揮法を桜井吉明氏に師事。プスト、バミントゥアン、コチャール、新実徳英、信長貴富、松下耕、佐藤賢太郎、千原英喜、相澤直人の各作曲家の委嘱初演を行い交流を深める。全日本合唱コンクール全国大会にパナソニック合唱団を率い、20回の金賞を受賞する。最近では、中国・ニューヨーク・トロサ公演などの海外演奏、合同演奏等の客演指揮や審査員としても活躍するとともに、委嘱作品初演やCDリリース、若い世代との交流に積極的に取り組んでいる。JCDA 日本合唱指揮者協会会員。21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」会員。大阪府合唱連盟理事。関西学生混声合唱連盟顧問。大阪男声合唱団指揮者。パナソニック合唱団常任指揮者。



客演ピアノ 次郎丸智希

福岡県出身。大阪大学文学部卒（音楽学）、同大学院修了（ドイツ文学）。神戸大学大学院人間発達環境学研究所・博士課程修了（人間表現（学術））。ピアノを村上稔子、南部朋子、片岡みどりの各氏に師事。作曲家、ピアニストとして多方面で活動。大阪音楽大学講師（ドイツ語歌謡）、お茶の水女子大学講師（歌曲研究・音楽学）。

神戸大学混声合唱団エルデ 無伴奏混声合唱のための「朝の交響」

「繊細でみずみずしい語り口」と評される田口犬男の詩の世界。その語り口に寄り添おうとして、音楽はよりポップな様相が与えられ、なおかつその縦に刻まれたリズムと、横に流れるフレーズの単位はより細かくなっていきます。

「はかる」「だいちのうた」「樹木にささぐ」「朝の交響」4編それぞれで独自の世界が展開されており、特に曲集のタイトルにもなっている「朝の交響」では、朝の食卓に並んでいる野菜を交響楽団に見立てるといふ非常に面白い世界が繰り広げられています。それぞれの野菜の主張を最初は勢いよく快活に、時には優美にしっかりと、最後はやはり明るく歌い上げます。

そんな面白い詩の世界を、エルデらしく明るくて透明感のある歌声で表現します。



関西学院大学混声合唱団エゴラド 「おらしょ」「初心のうた」

「おらしょ」は、カクレキリシタンの伝承歌と中世・ルネサンス期のキリスト教聖歌を素材に作られたものです。全3楽章から成るこの曲集ですが、今回はテナー solo が特徴的な第3楽章を演奏致します。日本の民俗旋律やグレゴリオ聖歌、ルネサンス・ポリフォニー音楽が入り混じった幻想的な世界観を多彩に表現し、壮大に歌い上げます。

「初心のうた」は、さまざまな社会矛盾の問題に直面し、ひるまず冷静に真実を見つめ、未来を切り開く若い意思にエールを送る木島始さんの5つの詩をテキストとして作曲されたものです。今回は、全5曲のうち「自由さのため」「泉のうた」の2曲をお送りします。「自由さのため」では、軽快なテンポの中を爽やかかつ伸びやかに歌い上げます。「泉のうた」は、未来に向かって道を作り出す“足”をテーマに、力強く歩いていく様を表現します。



パナソニック合唱団 無伴奏宗教曲アラカルト

色彩あふれる宗教曲の世界をお届けします。ノルウェーを代表する作曲家 クヌート・ニーステッド（1915-2014）の作品「O Crux」。聖遺物としての十字架、その神々しさと人々の畏敬の念が神秘的なハーモニーで表現される洗い名曲です。そして「Laudamus te」。スウェーデンの作曲家スヴェン・ダービッド・サンドストレム（1942-）の作品です。執拗なまでに繰り返される厳しく重たいモチーフは、神にすがり祈りを捧げながらも、過ちを犯し続ける人類の歴史を象徴しているかのようです。「O Salutaris Hostia」はラトビアの作曲家、エリクス・エセンヴァルズの作品。平安と救いにあふれる天上の音楽を、天使が透き通った声で歌い交わします。最後にアメリカの作曲家 Z. ランデル・ストループによる「We Beheld Once Again The Stars」。ダンテの「神曲」をテキストとし、地獄を脱出し希望が現れる情景を雄大で圧倒的な音楽で創り出します。

Chor Luft

コール ルフト

✧ 第9回演奏会

2018年 8月4日(土)

15:30 開場 16:00 開演

ドーンセンター 7階ホール
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

入場料：1,000円 全席自由

混声合唱組曲

IN TERRA PAX 地に平和を

作詞：鶴見正夫 作曲：荻久保和明

混声合唱とピアノのための

フォスター・メロディ(抜粋)

わらべうた

アニソンアラカルト

(残酷な天使のテーゼ、宇宙戦艦ヤマト 他)

指揮：小川 歩 ピアノ：栗田清隆

問い合わせ：団長 塩谷 (080-3763-6086) chorluft@gmail.com



プロフィール



Chor Luft(コールluft)

2004 年の 4 月に主宰・指揮者の小川歩の呼びかけにより結成された混声合唱団。

現在は大阪・堺筋本町の産業創造館を中心に毎週木曜日の夜と日曜日(月に一度)の午前中に練習している。

20~40 代のメンバーで活動中。

これまで、毎年大阪府合唱祭に参加しつつ、他団とのジョイント、あるいは単独でのコンサートを行い、2014 年には 10 周年記念コンサートをドーンセンターにて開催した。

また 5 年ぶりに出場した 2017 年・第 16 回大阪ヴォーカルアンサンブルコンテストでは初の入賞を果たし銅賞を受賞。

翌 2018 年・第 17 回コンテストでは金賞を受賞した。

音楽的にも運営的にもまだまだ課題は多いが、少しずつ団員も増えつつあり、団として成長途上にある。

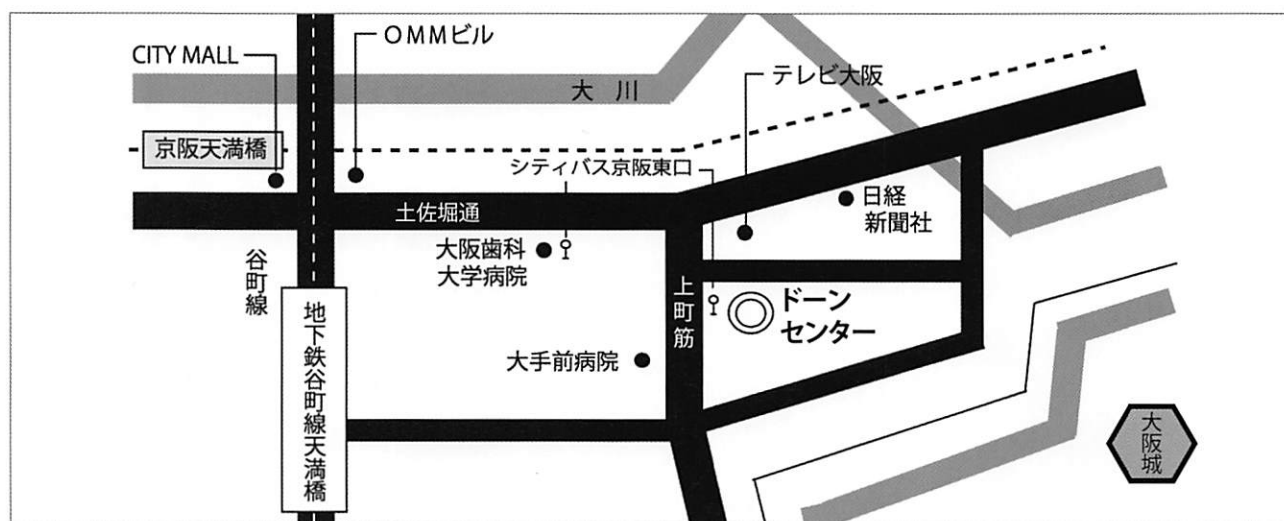
小川 歩(オガワ アユム)

長崎県島原市出身。1998、1999 年と 2 年連続で「長崎県高等学校音楽コンクール声楽部門銀賞」を受賞。

大阪教育大学進学を機に大阪へ。同大学混声合唱団にて学生指揮者やソリストを務め、卒業後は、教職に従事する傍らテレマン室内合唱団に所属し研鑽を積んでいる。

シュッツ「葬送音楽」「クリスマスオラトリオ」バッハ「マニフィカト」「ヨハネ受難曲」ヘンデル「メサイア」モーツァルト「戴冠ミサ」ベートーヴェン「第九」等、主に宗教曲のテノールソロを務め、端正な歌唱法と恵まれた美声で、近年その活躍の舞台を広げている。

また、大学卒業と同時に Chor Luft を創立し、合唱指揮者として演奏会や訪問演奏を中心に積極的に活動している。声楽を仲宗根稔氏に師事。合唱指導法を飯沼京子氏に、指揮法の基礎を須賀敬一・藤野充・根津昌彦の各氏に学ぶ。現在、テレマン室内合唱団員、Chor Luft 主宰兼指揮者。



■交通：京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅1番出口から東へ350m・JR 東西線「大阪城北詰」駅2号出入口から西へ 550m・シティバス「京阪東口」からすぐ



DawnCenter

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1 丁目 3 番 49 号 TEL 06-6910-8500 FAX 06-6910-8775

親子室がございます。譲り合ってください。

小貫 岩夫 テノール リサイタル 2018

愛する人に 捧げる歌

【大阪公演】

8月4日(土)

open 13:30 start 14:00

会場◎大阪倶楽部

ピアノ◎阪本朋子

入場料◎4,000 円
(全席自由)

【東京公演】

9月7日(金)

open 18:00 start 18:30

会場◎東京文化会館 小ホール

ピアノ◎多田聡子

入場料◎ S 席 4,500 円
A 席 4,000 円
(全席指定)

後援◎公益財団法人東京二期会
大阪音楽大学<幸楽会>
NPO 法人 音楽で日本の笑顔を

チケットのお申込み
お問い合わせは…

小貫 Tel&Fax.03-3321-2411

✉ onuki@skyblue.ocn.ne.jp

Onuki Iwao
tenor

北海道出身。同志社大学卒業後、大阪音楽大学卒業。
文化庁オペラ研修所第11期修了。数々の主要なコン
クールで優勝・入賞経験を持つ。

音大在学中の1995年、堺シテオペラ「魔笛」のタ
ミーノ役に抜擢され、テオ・アダムら世界的歌手と共
演しデビュー。この成功により、ドイツ・ケムニツ
市立歌劇場より招聘を受け、96年同役で出演し地元
紙より好評を得る。98年より文化庁派遣芸術家在外
研修員としてミラノへ留学。2000年、R.シュトラウ
ス「サロメ」(若杉弘指揮)で新国立劇場デビューを飾っ
たのち、様々な舞台で活躍。

近年では2018年、東京文化会館での二期会公演
『魔弾の射手』に主役マックスで出演し絶賛される他、
天皇皇后両陛下御親覧の舞踏会での演奏、フィレン
ツェでイタリア元首首相夫妻主催のコンサートに招かれ
出演など、活動の幅を広げている。また数々の主要オー
ケストラとも共演し高い評価を得ている。その他
NHK-FM「名曲リサイタル」に出演するなど、テレビ・
ラジオにも度々出演。柔らかく輝かしい声質と気品あ
る歌で、常に聴衆を魅了し続けている。

二期会会員。

【予定プログラム】

ベートーヴェン作曲
「遙かなる恋人に」作品98

木下牧子作曲
「いちばんすきなひとに」

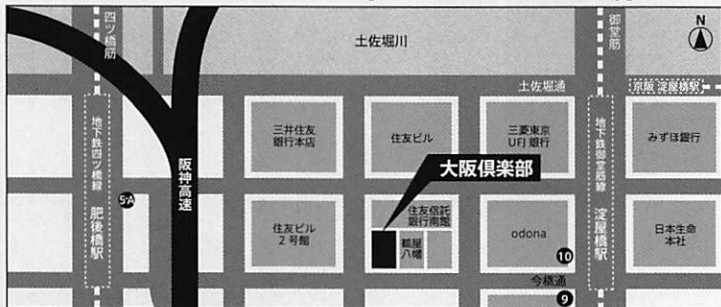
ほか

愛する人に 捧げる歌

小貫岩夫テノールリサイタル2018

大阪倶楽部 (大阪市中央区今橋4-4-11)

Tel.06-6231-8361(代) <http://osaka-club.or.jp/>



- ・地下鉄御堂筋線/京阪本線「淀屋橋駅」(9番・10番出口)より西へ徒歩5分
- ・地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」(5-A出口)より東へ徒歩8分

東京文化会館 小ホール (台東区上野公園5)

Tel.03-3828-2111(代) <http://www.t-bunka.jp/>



- ・JR (山手線、京浜東北線、常磐・成田線、常磐線、高崎線、東北本線) 上野駅 公園口
- ・東京メトロ銀座線/日比谷線 上野駅7番出口
- ・京成上野駅 公園口

OSAKA

開場 13:30

2018年8月4日(土) 開演 14:00

ピアノ◎阪本朋子

大阪音楽大学在学時よりアンサンブルを得意とし研
鑽を重ねる。卒業と同時に母校に招かれ大学院オペ
ラ研究室にて2014年3月迄の長きにわたり教鞭を
とる。演奏活動の中心は、声楽の伴奏であるが殊にオ
ペラアンサンブルにおいてはその安定した構成によ
る感銘に満ちた演奏が常に評価される。一方ソリス
トとして、バルトーク3番、ラフマニノフ2番、プ
ーランク2台のピアノ、ベートーベン合唱幻想曲をオー
ケストラと競演。

1999年に起きた台湾大震災の復興支援コンサート
を期に結成された「クオレの会」に世話役として参加
し2001年よりチャリティーコンサート活動を開始。
2005年にJR尼崎脱線事故に遭遇しその体験が後の
音楽への取り組みを本質的に変化させることとなる。
2011年に起きた東日本大震災に心寄せる復興支援
コンサート(クオレリレーコンサート)事務室長を5
年間担当、その後、音楽を媒体として、より息の長い
支援活動を目指すクオレマラソンコンサート事務室
長として、2016年4月熊本地震、10月鳥取地震への
チャリティーコンサート等を実行。これ等の活動が、
今やライフワークとなる。

現在、芦屋学園短期大学教授。全国音楽大学教育学会・
兵庫県音楽活動推進会議・神戸音楽家協会・西宮音
楽協会・尼崎市芸術文化協会各会員。尼崎市合唱団
理事兼ピアニスト。

2001年 尼崎市芸術奨励賞受賞。



Sakamoto Tomoko
piano

TOKYO

開場 18:00

2018年9月7日(金) 開演 18:30

ピアノ◎多田聡子

東京芸術大学附属音楽高校を経て同学器楽科ピアノ
専攻卒業。在学中より著名な演奏家と共演を重ね、卒
業年度より同学声楽科にて伴奏助手を務める。
NHK総合テレビ、NHK-FMなど音楽番組への出演多
数。

第30回イタリア声楽コンクールでは表彰式にて特別
招聘審査員マルチェロ・アップード氏より異例の賛
辞を受けた。錦織健の伴奏者としては日本全国で
200回以上共演。

東京芸術大学非常勤講師。



Tada Satoko
piano

Designed by TANI Takushi / T&T Design Lab. ● May, 2018

発売元 株式会社ピュアハーツ

- 【収録曲目】
- 1 アマポーラ
 - 2 初恋
 - 3 落葉松
 - 4 妖術の瞳
 - 5 忘れな草
 - 6 グラナダ
 - 7 セレナーデ「ミュージカルより」
 - 8 見果てぬ夢「ミュージカル「ラ・マンチャの男」より
 - 9 また逢う日まで
 - 10 ふたりのしらべ



CD好評発売中
ふたりのしらべ

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

HMCCP-1009
¥3,000(税込)
発売:2017年7月



男声合唱団 銀河

第8回 定期演奏会

8th Regular Concert

聖母マリアへの祈禱
～現代作曲家が見た祈りの世界～

Salve Regina 作曲 Timothy C. Takach 他

ミュージカル
“WEST SIDE STORY” ハイライト

作曲 Leonard Bernstein 作詞 Stephen Joshua Sondheim

革命詩人による「十の詩曲」より
『六つの男声合唱曲』

作曲 Dmitrii Dmitrievich Shostakovich

作詞 安田 二郎 編曲 福永 陽一郎

指揮 天川 雅俊、林 誠浩
エレクトーン 亀井 杏菜、水口 ひな
パーカッション 角 武

2018年 8月25日(土)

開場 16:30 開演 17:00 入場料 一般1,000円 学生800円

- 前売り券が定数に達し次第、当日券販売を中止する場合があります。ご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- HP上からもチケットをお買い求めいただけます。
- 問い合わせ先:090-1950-7860(小谷)

伊丹アイフォニックホール



〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1-3-30
JR「伊丹駅」より西へ徒歩約7分、阪急「伊丹駅」より北へ徒歩約4分

男声合唱団 銀河 第8回定期演奏会

聖母マリアへの祈禱 ～現代作曲家が見た祈りの世界～

Ave Maria / Lin Ming-Chieh
De Maria Virgine / Ambroz Copi
Salve Regina / Timothy C. Takach

みなさんは、どのようなときに「祈り」にふれるでしょうか。生命に感謝するとき、前を向きたいとき、人と想いを共にしたいとき…このように「祈り」にふれたいとき、依り代となる「言葉」に助けられることが多くあります。このステージでは、数百年以上の時間を超えてなお、色褪せることのない「言葉」の姿を、新たな音世界で表現することに挑戦したいと思います。アジア、ヨーロッパ、アメリカの各作曲家が、母性を象徴する聖母マリアへの祈禱文を題材として、男声合唱の新たな境地へと導いてくれました。男声合唱のもつ純粋かつ濃厚なハーモニーで、慈しみ深い愛に対する感謝や喜びの「言葉」を歌います。

指揮 林 誠浩

ミュージカル “WEST SIDE STORY”ハイライト

作曲 Leonard Bernstein
作詞 Stephen Joshua Sondheim

20世紀を代表する指揮者・作曲家であるレナード・バーンスタインがこの世に生を受けてちょうど100年目の日となる今年8月25日、氏の代表作であるウエストサイド物語に銀河が挑戦します。Maria, Tonightなどの名曲の数々を、男声合唱を中心に据えながら、男女キャスト、女声アンサンブル、ダンサー、そして豪華伴奏陣らが個性豊かに表現します。一夜限りのスペシャルハイライト、ご期待ください。

指揮 天川 雅俊
エレクトーン 亀井 杏菜
パーカッション 水口 ひな
角 武

ゲストシンガー 佐伯 郁香
田中 麻里恵
ゲストダンサー 奥村 穂乃香
大倉 麻衣子
中村 心
女声アンサンブル KBCクワイア

革命詩人による「十の詩曲」より 「六つの男声合唱曲」

作曲 Dmitrii Dmitrievich Shostakovich
作詞 安田 二郎
編曲 福永 陽一郎

1. 雄々しく進もう
2. 果てなき荒野
3. 死刑の戦士
4. 怒りの日
5. 鎮魂歌
6. 歌

19世紀末から20世紀初頭のロシアにおいて革命運動に関わった労働者らの詩を題材とし、ショスタコーヴィッチが初の無伴奏合唱曲として1951年に書いた作品「十の詩曲」。作曲家の自由な創作活動が制限されている環境にあって、詩のもつエネルギーを生かしながら、権力からの批判をかわしつつ高い芸術性をもって作曲家自身の心の叫びを具現化した楽曲です。今回は、日本の男声合唱の発展に力を尽くした音楽家、福永陽一郎氏がその中から選んだ6曲で再編成した男声合唱版を、力強く歌い上げます。

指揮 天川 雅俊

指揮 天川 雅俊



指揮 林 誠浩



エレクトーン 亀井 杏菜



エレクトーン 水口 ひな



パーカッション 角 武



男声合唱団 銀河

2007年夏、当時関西の大学合唱団で活動していたメンバーが参集し、常任指揮者である天川雅俊を中心に結成。現在は10～30代のメンバーを中心に約30名が在籍。兵庫ヴォーカルアンサンブルコンテスト2012金賞、第15回東京男声合唱フェスティバル人気投票2位など、受賞歴多数。また、PRAY FROM KOBEやコーラスめっせなどのイベントに精力的に出演する他、ミュージカル公演への参画、2016年には北海道にて全国の若手合唱歌手らとのジョイントコンサート「SING FORWARD」の開催に加わるなど、演奏活動の幅を広げている。オーボエなど合唱演奏は元より、ギター、打楽器、エレクトーン、オーケストラなど様々な楽器との共演も意欲的に展開。POPS曲の編曲初演や作曲家への委嘱初演等にも積極的に取り組んでいる。「男声合唱を“ツール”として、ジャンルにとらわれず時間芸術の創造を主体的に行う」をスローガンに、飽くなき挑戦を続けている。

一緒に演奏会で歌いませんか？

8月の定期演奏会で一緒に歌いませんか？今からでも演奏会には十分間に合います。メインステージ「十の詩曲」を中心に、オンステメンバーを募集中です！一つのステージだけのオンステでも大歓迎です！練習は阪神間にて月3～4回です（日曜日朝または昼）。いつでも見学にお越しください。お問い合わせは下記メールフォーム、もしくはSNSアカウントまで。



<http://ginga-mc.blogspot.com/>



<http://www.facebook.com/GINGAMC>



gingamc_milkyway@yahoo.co.jp

「ミサ曲 第2番 ト長調」

(作曲:F. Schubert)

<ヴァイオリン>嵯峨山 庸子

<ヴァイオリン>伊左治 道生

<ヴィオラ>井木 恵

<チェロ>野田 祐子

<オルガン>山内 愛

<指揮>天野 裕介



混声合唱組曲「楽譜を開けば野原に風が吹く」

(作詩:和合 亮一 作曲:信長 貴富)

「Vamuvamba(ケニア)」(編曲:Boniface Mganga)

「月光光(香港)」(編曲:天野 裕介)

ピアノ連弾と三線のための「沖縄のスケッチ」より

「赤田首里殿内」(作曲:寺嶋 陸也)

「Gate Gate(カナダ)」(作曲:Brian Tate)

混声合唱のための「風を乗せたい」

(作詩:和合 亮一 作曲:高嶋 みどり)

他

同声・混声合唱とピアノのための組曲

「僕の記憶のどこかに」

(作詞・作曲:佐藤賢太郎(Ken-P))

<指揮>天野 裕介 <ピアノ>中野 園子

<指揮>天野 裕介 <パーカッション>岸 直歩

<ピアノ>山内 愛・中野 園子



2018年 8月 26日

The Voicefield Chorus
Hyogo Japan
Since 1977

開演 14:00 開場 13:30
芦屋ルナ・ホール

(JR芦屋駅より西、阪神芦屋駅より北、阪急芦屋川駅より南へ徒歩約5分)

入場料 1,000円(全席自由)

主催 合唱団ボイスフィールド

連絡先 090-6755-8728(みなもと)

E-mail: info30@voice.gr.jp URL: <http://www.voice.gr.jp/>

<https://www.facebook.com/Voicefield1977>

第41回合唱団ボイスフィールド定期演奏会

第四十一回合唱団ボイスフィールド定期演奏会

The Voicefield Chorus 41st Annual Concert/2018.8.26/Ashiya LUNA hall

合唱団ボイスフィールド



今年で創立41年、芦屋を中心に活動する混声合唱団です。
「ボイスフィールド」という名前には、“世界中を歌の野原にしたい”という願いが込められています。幼い頃から合唱を続けているベテランも、音楽にあまり縁のなかった初心者も、10代から70代までの男女約35名が、お互いの個性を尊重しながら、共に音楽を楽しんでいます。
活動は1977（昭和52）年の合唱団創立以来、欠かさず開催してきた年1回の定期演奏会のほか、合唱イベント「コーラスめっせ」や兵庫県・芦屋市等の合唱祭への参加、クリスマスコンサートの開催など様々。また、演出・演技等を伴った「シアターピース」とよばれる合唱劇の上演や、世界各地のユニークな歌の演奏、オーケストラとの共演など、ジャンルに縛られることなく、多種多

様な音楽に積極的なチャレンジを続けています。

さらに、千原英喜さん、谷岡千代さん、北川昇さん、青島広志さん、石黒晶さん、丸尾喜久子さんなど、多くの作曲家に新曲を委嘱、初演するなど、新しい合唱曲の制作にも力を注いでいます。

今年は創設指揮者の西牧潤が休みをいただいておりますが、ボイスフィールドらしさを失うことなく、ご来聴の皆さまにお楽しみいただける演奏をお届けしたいと思ひます。ご期待ください！

♪ゲストプレーヤー♪



大阪音楽大学卒業。モダン、バロック両方の楽器を弾きわけ、関西、関東のアンサンブル、オーケストラで演奏。リュート、チェンバロ、パイプオルガンとのデュオも好評を博す。また合唱団との共演や、宗教音楽の分野でも積極的に活動している。現在、大阪音楽大学非常勤講師、アンサンブル神戸、京都・バッハ・ソリスト、アンサンブル・ロンドの各メンバー。

嵯峨山 庸子
《ヴァイオリン》

Yoko SAGAYAMA



井木 恵
《ヴィオラ》

Megumi IKI



桐朋学園大学演奏学科卒業。東京芸術大学大学院古楽科修了。平成17年度文化庁新進芸術家海外留学生として、渡伊。宗倫安、小林健次、磯野順子、宗倫匡、若松夏美、エンリコ・ガッティの各氏に師事。イタリアの古楽団体Accordone等で演奏。古楽器による演奏会amici musicali、レクチャー、公開レッスンを開催。2017年丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティストとして招聘される。うはらオペラシリーズなどでコンサートマスターを務める。

伊左治 道生
《ヴァイオリン》

Michio ISAJI

チューリッヒ芸術大学大学院にてコンサートディプロム、オーケストラディプロムを卒業。これまでに山崎量子、小野聡、ウェンディ・エンデルレ・チャンブニー、カティア・フックス、ウルリケ・カウフマンの各氏に師事。2012年にチューリッヒオペラにて実習生を経る。関西を中心にソロ、オーケストラ、室内楽など様々なコンサートに出演。現在、大阪音楽大学付属音楽院さくら夙川校で講師を務める。



野田 祐子
《チェロ》

Yuko NODA

京都市立芸術大学音楽学部卒業。現在はフリーランスのチェリストとして、関西を中心に活動している。演奏する楽器はバロックスタイル、モダンスタイルのチェロのほか、ヴィオラ・ダ・ガンバの習得にも励んでいる。楽曲が創られた時代の奏法や音楽表現に視点を置き、美しい音色による演奏を目指している。2011年黒川録朗賞、2018年姫路市芸術文化奨励賞受賞。



山内 愛
《ピアノ・オルガン》

Mana YAMAUCHI

神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。第20回兵庫県学生ピアノコンクール高校生の部最優秀賞・兵庫県知事賞等受賞、第10回宝塚ベガ学生ピアノコンクール大学生部門第3位。神戸女学院大学ハンナゲューリックスエヒロ記念賞受賞。よんよんコンサート、関西新人演奏会等に出演。山内鈴子氏に師事。



岸 直歩
《パーカッション》

Suguho KISHI

小学生の頃、エレクトーンアンサンブルの大会出場時にボンゴを担当したことをきっかけにパーカッションに興味を持つ。中学校はサッカーとの両立が厳しく一旦音楽から離れるが、大学生になってからラテンパーカッションの練習をスタートする。亀崎ヒロシ氏、和佐野功氏（indigo jam unit）に師事。2016年に、憧れのプレイヤーであったラテンピアノの仲田美穂氏のライブに出演。現在、京都工芸繊維大学大学院博士前期課程在学中。

合唱団ボイスフィールド メンバーいつでも募集中

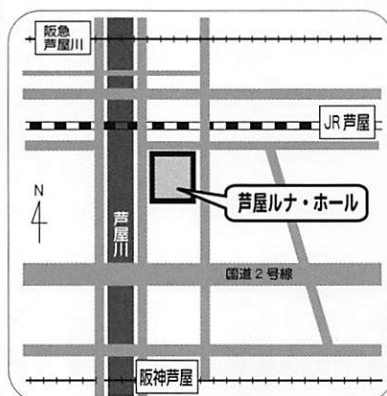
練習日：毎週日曜日 18:00～20:30 または 17:30～20:30

会場：芦屋市立青少年センター、西宮市立鳴尾公民館など

団費：一ヶ月1,500円（学生500円）

練習時間や場所は変わることがあります お問い合わせください

090-6755-8728（みなもと）、info30@voice.gr.jp



パナソニック合唱団

第43回定期演奏会

指揮：本城 正博

■ Wolfgang A. Mozart

REQUIEM

管弦楽 芦屋交響楽団

独 唱 野々村 彩乃

山際 きみ佳

清水 徹太郎

小玉 晃

■ 名曲アラカルト

○ Crux

Knut Nystedt

Laudamus te

Sven-David Sandström

○ Salutaris Hostia

Ēriks Ešenvalds 他

■ ポピュラーアラカルト

ピアノ 次郎丸 智希

Jupiter

松下 耕 編曲

さとうきび畑

信長 貴富 編曲

君をのせて

倉知 竜也 編曲 他

2018年 9月1日(土) 16:30 開場 17:30 開演
ザ・シンフォニーホール

入場料：事前指定席 2,500円／一般席 2,000円（当日券あり）

一般席は当日15:30より座席券と交換します。

恐れ入りますが、未就学児の入場はご遠慮ください。

チケットぴあ、ザ・シンフォニー チケットセンターでも取り扱っています。

チケットぴあ：電話：Pコード受付専用 0570-02-9999 Pコード 112-197（販売日：6月10日～8月29日）

ザ・シンフォニー チケットセンター：連絡 先：06-6453-2333

営業時間：10:00～18:00 休業日：毎週火曜日

販売日：6月10日～8月31日（最終日は12:00で販売終了）

ホームページ：<http://www.bea.hi-ho.ne.jp/m-chorus/>

お問い合わせ：email t-m-chorus@fol.hi-ho.ne.jp

後援：JCD 日本合唱指揮者協会、21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」、大阪府合唱連盟

パナソニック合唱団



1974年創団。パナソニックグループの社員約100名で構成される職場合唱団。常任指揮者は、本城正博。定期演奏会では、国内外の著名な先生方への委嘱、招聘、オーケストラとの共演など意欲的な活動を展開し、今年で43回を数えている。全日本合唱コンクール全国大会では、22回の金賞を受賞している。また活動の幅は国内に留まらず、1999年にはスペイン・トロサで開催されたトロサ国際合唱コンクールに出場し2部門で3位入賞を獲得、2005年にはニューヨークで、2008年には中国北京・大連にて演奏会を開催し好評を博した。最近では、千原英喜氏の「天草雅歌<第二集>」東方への道一、佐藤賢太郎氏(Ken-P)の「Cantata Amoris」、信長貴富氏の「ガルシア・ロルカ詩集」「いまよくに」、松下耕氏の「光・三首」、パミントウアン氏、ブスト氏、コチャール氏、新実徳英氏の作品の委嘱初演や、委嘱作品を集めた「新しい音楽とともに1. 2」、金賞演奏を集めた「祈り」、千原英喜作品集「天草雅歌<第二集>」のCDリリース、さらに若い世代とのジョイントコンサートを実現するなど、合唱音楽の楽しみを幅広く伝える活動に積極的に取り組んでいる。

演奏曲紹介

■ W. A. MOZART Requiem in d-moll K. 626

Requiemはモーツァルト(1756-1791)が作曲した「死者のためのミサ曲」。200年以上に亘って世界中で演奏され続け、フォーレ、ヴェルディのものと共に「三大レクイエム」と称される名曲中の名曲です。本作品はモーツァルトがLacrimosa(涙の日)の作曲途中で他界し、弟子のジュースマイヤー(1766-1803)により補筆完成されたこと、そしてそれ故今なお多くの謎や議論を呼び続けていることでも有名です。Introitus(入祭唱)で提示される「レクイエムの主題」と呼ばれる独特の旋律線が形を変えながら、彼の死後に書かれた部分も含め、作品全体に出現します。まさに神秘の大曲ともいえる「モツレク」を芦屋交響楽団のオーケストラでお届けいたします。

■ 名曲アラカルト

色彩あふれる無伴奏の世界をお届けします。

「O Crux」はノルウェーの作曲家 K. ニーステッド(1915-2014)の作品。聖遺物としての十字架、その神々しさ人々の畏敬の念が神秘的なハーモニーで表現される流麗な名曲です。「Laudamus te」は、スウェーデンの作曲家 S. D. サンドストレム(1942-)の作品。執拗なまでに繰り返される厳しく重たいモチーフは、神にすがり祈りを捧げながらも、過ちを犯し続ける人類の歴史を象徴しているかのようです。「O Salutaris Hostia」は、ラトビアの作曲家 E. エセンヴァルズの作品。平安と救いにあふれる天上の音楽を、天使が透き通った声で歌い交わします。「We Beheld Once Again The Stars」は、アメリカの作曲家 Z. R. ストループの作品。ダンテの「神曲」をテキストとし、地獄を脱出し希望が現れる情景を雄大で圧倒的な音楽で創り出します。「まいまい」は、間宮芳生の日本民謡による12のインベンションの中の作品。古雅な美しい旋律を持つ神楽舞のうたです。

■ ポピュラーアラカルト

人には、曲を聴くと、その当時の情景が思い浮かぶような、いつまでも心に残るポピュラーソングがあるのでないでしょうか。今宵は、Jupiter、さとうきび畑、君をのせて、川の流れるように、見上げてごらん夜の星を、の5曲を、多方面で活躍されている次郎丸智希氏の伴奏で楽しんで頂きます。

常任指揮者 本城 正博



大阪大学卒業。発声法を桜井吉明、福島慶子、小玉晃の各氏、指揮法を桜井吉明氏に師事。ブスト、パミントウアン、コチャール、新実徳英、信長貴富、松下耕、佐藤賢太郎、千原英喜、相澤直人の各作曲家の委嘱初演を行い交流を深める。全日本合唱コンクール全国大会にパナソニック合唱団を率い、20回の金賞を受賞する。最近では、中国・ニューヨーク・トロサ公演などの海外演奏、合同演奏等の客演指揮や審査員としても活躍するとともに、委嘱作品初演やCDリリース、若い世代との交流に積極的に取り組んでいる。JCDI日本合唱指揮者協会会員。21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」会員。大阪府合唱連盟理事。関西学生混声合唱連盟顧問。大阪男声合唱団指揮者。パナソニック合唱団常任指揮者。

ピアニスト



次郎丸 智希

独 唱



野々村 彩乃



山際 きみ佳



清水 徹太郎



小玉 晃

芦屋交響楽団



1967年7名の有志により「芦屋ポップスオーケストラ」として発足。1977年音楽監督として招聘した故芥川也寸志氏の「アマチュア音楽は音楽の本道である」の精神に基づき、自立した運営を基盤とする真のアマチュア音楽愛好家集団として、年2回の定期公演のほか、地元での演奏活動を行っている。普段は仕事や家庭を持つ普通の社会人たちが、愛する音楽に真摯に取り組む燃焼し尽くす、そんな熱きオーケストラを目指している。現在団員数約110名。次回は2018年11月4日(日)、ザ・シンフォニーホールにて第90回定期演奏会を予定。

最近の活動とトピックス

2017年9月 定期演奏会

いろいろなジャンルの曲を演奏し、満場の観客を魅了しました。

2017年12月 クリスマスコンサート

クリスマス会場の皆様と楽しくクリスマスをお祝いました。

2018年4月 コーラスめっせ

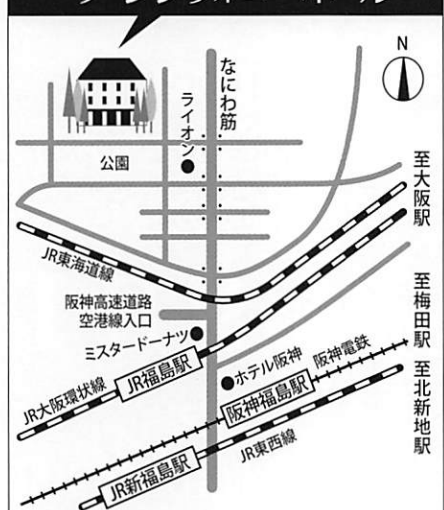
合唱音楽を多くの人とともに楽しみ学び広げていく関西発のイベントを盛り上げます。



2018年7月 大学合唱団とのJOINTコンサート

今年は神戸大学混声合唱団エルデさん、関西学院大学混声合唱団エゴラドさんと一緒に、フレッシュなハーモニーを奏でます。(写真は一昨年のもので)

ザ・シンフォニーホール



電車をご利用の方

- JR大阪駅から西へ徒歩約15分
- JR環状線 福島駅から北へ徒歩約7分
- JR東西線 新福島駅①番出口より北へ徒歩約10分
- 阪神電車 福島駅②番出口から北へ徒歩約10分

バスをご利用の方

- 大阪市バス JR大阪駅前ロータリーから41系統 大淀南1丁目下車
- 阪急バス JR大阪駅中央西出口北側から18系統 大淀南1丁目下車

第4回 同志社グリークラブOBシンガーズ 演奏会



第3回 演奏会 2016年9月18日
いずみホール(大阪)

日時：2018年9月16日(日) 13:00開場 14:00開演

場所：ザ・シンフォニーホール

S席 3,000円 座席指定
A席 2,000円 座席指定



プログラム

I 三好達治 作詞 多田武彦 作曲
男声合唱組曲『わがふるき日のうた』
指揮：山下 裕司

II Felix Mendelssohn 作曲
Vespergesang opus.121 (晩禱)
客演指揮：小久保 大輔

III Spirituals より
指揮：武内 和朋

IV Richard Strauss 作曲 福永陽一郎 編曲
Ein Liebeslieder Buch (愛の詩集)
指揮：山下 裕司 ピアノ：木下 亜子

2010年2月、京都同志社大学でおこなわれた、同志社グリークラブ顧問 故遠藤 彰先生の追悼礼拝に参加した欧州演奏旅行経験者が中心となって、結成。昭和59年卒～平成10年卒が中心で、その前後のメンバーも参加。

このメンバーは、2011年2月に没後20年を迎えた技術顧問 故 福永 陽一郎先生に深く薫陶を受けたメンバーでもある。

2011年3月6日、大阪明星学園チャペルで「第1回演奏会」を開催。観客の皆様と歌い手が感動の中で涙を流すという、男声合唱ならではの熱い演奏会。(オンステメンバーは50名)

感動したメンバーから、同期・先輩・後輩へと『歌うことの感動』が自然に伝わり、登録メンバーは、現在90名超。

2012年4月には、「早同が巻き起こす春の大騒動」と銘打って、盟友「早稲田大学グリークラブOBメンバーズ」とのジョイントコンサートを東京において開催。2014年9月第2回演奏会、2016年9月第3回演奏会を大阪いずみホールにて開催。2017年3月には初めて、香川県で招待演奏。その後も、様々な演奏会を開催・出演し、現在に至っております。

第4回演奏会では、第3回に引き続き、恩師 福永陽一郎先生のお孫様にあたります小久保大輔先生を招聘いたします。DOBSが、聖地とも呼んでいる「ザ・シンフォニーホール」にて、どんな音楽を奏でるのか？ 乞うご期待！！

交通アクセス 所在地 ☎531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3

◆電車ご利用の方

- JR 大阪環状線 福島駅から北へ徒歩約7分。
- JR 東西線 新福島駅1番出口から北へ徒歩約10分。
- 阪神電車 福島駅2番出口から北へ徒歩約10分。
- JR 大阪駅から西へ徒歩約15分。

◆バスご利用の方

- 大阪市バス：JR 大阪駅 歩道のりば(駅東側の高架下)から41系統 大淀南1丁目下車。
- 阪急バス：JR 大阪駅北側バスターミナルから18系統 大淀南1丁目下車。



★未就学児童のご入場はご遠慮願います★

《お問い合わせ先》

Mail : njoshua0704@gmail.com

HP : <http://d-gleeclub-ob-singers-2011.jimdo.com>

Facebook : DOBS



The Symphony Hall

淀川混声合唱団

第30回記念演奏会



混声合唱組曲

かみさまへのてがみ

谷川俊太郎 訳詩 高嶋みどり 作曲

今年度委嘱作品

中世ペルシア四行詩による混声合唱曲

いのち
この生飛ぶ

オマル・ハイヤーム 作詩 エドワード・フィッツジェラルド 英訳
竹友藻風 邦訳 北川 昇 作曲

無伴奏混声合唱のための

ゆめおり

みなづきみのり 作詩 松下 耕 作曲

第30回記念ア・ラ・カルト

Londonderry Air

Percy Grainger 編曲

Water Night

Octavio Paz 作詩 Muriel Rukeyser 訳詩 Eric Whitacre 作曲
ほか

指 揮：伊東恵司

ピアノ：細見真理子

2018年11月4日(日)

開場 14:30 開演 15:00

座席券交換 13:30 より

※座席指定券引換時にはホール窓口まで
お越しください

入場料 ¥2,000

※未就学児のご入場はご遠慮ください

※出演者へのプレゼントは謹んで
ご辞退申し上げます



Izumi Hall いずみホール

お問い合わせ

いずみホールチケットセンター:06-6944-1188

Mail:yodokon_since1985@yodokon.jp

HP:https://sites.google.com/site/yodokon/

Tel:林(団長)075-781-0640

なにわコラリアーズ オール三善晃 コンサート

Naniwa Choraliers

豪華6ステージ!

五つのルフラン

三つの時刻

三つの抒情

遊星ひとつ

縄文土偶

クレーの絵本
《第2集》

MIYOSHI AKIRA

指揮

伊東 恵司

ピアノ

水戸 見弥子
松本 望

2019.

1.12(土)

17:00 開場 / 18:00 開演

 紀尾井ホール

(東京都千代田区・電話 03-5246-4500)

《アクセス》

*未就学児童のご来場は
ご遠慮下さい。

*演奏会当日の花束・
プレゼント等のご遠慮下さい。

JR 四ツ谷駅 徒歩 6 分 / 銀座線・丸の内線 赤坂見附駅 徒歩 8 分
有楽町線 麹町駅 徒歩 8 分 / 半蔵門線・有楽町線 永田町駅 徒歩 8 分

2018 年秋より
Web 販売開始!

【全席指定】

前売 3,000 円

当日 3,500 円

お問合せ:

Tel 090-9884-6911 (山田)

090-3920-1379 (中山)

E-mail naniwachoraliers@yahoo.co.jp

<http://nanikora.fc2web.com/>



団員募集中: 全国津々浦々ツツモノ募集!

1st Stage
早稲田大学混声合唱団
混声合唱組曲
「あさきよめ」

作詩：室生犀星 作曲：藤嶋美穂
指揮：佐藤由季 ピアノ：二瓶穂香

2nd Stage
同志社学生混声合唱団C.C.D.
混声合唱曲集
「うたよ！」より

作詩：まど・みちお 作曲：木下牧子
指揮：喜瀬弘望 ピアノ：浦 史子

早稲田大学混声合唱団
同志社学生混声合唱団C.C.D.

第58回

交歓演奏会
The 58th Joint Concert

5th Stage

合同演奏

「Hora est」

作曲：Felix Mendelssohn Bartholdy

指揮：八尋和美

ピアノ：浦 史子

3rd Stage
早稲田大学混声合唱団

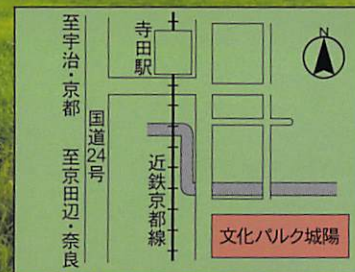
「Messe in Es op.109
"Cantus Missae"」

作曲：Josef Gabriel Rheinberger
指揮：八尋和美

4th Stage

同志社学生混声合唱団C.C.D.
「Knut Nystedt作品集」

作曲：Knut Nystedt
指揮：本山秀毅



2018年6月30日(土) 開場 13:30 開演 14:00 / 文化パルク城陽プラムホール(近鉄京都線寺田駅 从南へ徒歩8分) 全席自由 1000円(未就学児 無料)

お問い合わせ：(同志社) 田中泰志 080-2958-0381 ccd.oshisha1947@gmail.com (早稲田) 原村祐輔 080-3306-0636 wmc.shogai@gmail.com



京都ノートルダム女子大学女声合唱団

私たち京都ノートルダム女子大学女声合唱団は1962年に部として設立し、今年で56年目となります。今年度も多くの新入生を迎え、現在団員約20名で活動を行っています。合唱曲を始め、宗教曲やJ-POPなど、幅広いジャンルの曲に取り組んでいます。毎年開催する定期演奏会に加え、京都合唱祭やオータムレディーズコンサートへの出演、学内行事での演奏など様々な活動をしています。



Twitter で日々の活動の様子や、定期演奏会情報などをつぶやいています！



@notredamechorus

第 52 回定期演奏会

日程:2018年12月中(予定)

場所:京都市内

入場無料

日時や会場などの詳しい情報は7月中旬に Twitter にてお知らせします！

毎年12月に行う定期演奏会、今年で52回目になります。今回は全3ステージで、第1ステージはアカペラの宗教合唱曲、第2ステージは皆さんもなじみのあるジブリメドレーを演奏します。皆様に素敵な女声合唱をお届けできるよう、現在も定期演奏会に向けて練習中です。是非足をお運びください、団員一同お待ちしております。

お問い合わせ先:小薬(渉外)
TEL:090-4521-4800
Mail:nns_k0130@docomo.ne.jp





歌え、私たちの物語を

同志社コール・フリューゲル Summer Concert 2018

Stage1

宗教曲ステージ

～現代の祈り～

指揮 杉本周平

Stage2

アラカルトステージ

～過去と未来をつなぐステージ～

指揮 伊東恵司・杉本周平

ピアノ 内藤典子

Stage3

混声合唱とピアノのための曲集

「お菓子の時間」

作詩 みなづきみのり

作曲 横山智昭

指揮 伊東恵司

ピアノ 内藤典子

入場料

500円



2018年7月1日(日) 開場18:00・開演18:30 同志社大学寒梅館ハーディーホール

後援:京都市合唱連盟

問い合わせ先:清水莉紗(外政子-フ):080-9303-3441

<http://www.geocities.jp/chorfuegel/>

京都市営地下鉄烏丸線今出川駅2番出口から北へ徒歩1分(お車でのご来場はご遠慮ください)



指揮者 伊東恵司

京都市在住。児童・混声・女声・男声…あらゆる形式・ジャンルの合唱指導を行い、全日本合唱コンクール・宝塚国際室内合唱コンクール等でグランプリ、金賞、特別賞を多数受賞。世界合唱シンポジウムでは2度にわたり（ソウル・バルセロナ）特別招待演奏団体（「なにわコラリアーズ」「Ensemble Vine」）に選出される等、海外公演も多数。現在は、全国各所で講習会講師や審査員を務めるだけでなく「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル（京都）」「コーラスめっせ（大阪）」の主催や「世代間を結ぶわらべうたプロジェクト」「小中高の音楽教師向け講習会」の企画等、合唱の広がりを目指した活動を行い各方面の注目を集めている。日本合唱指揮者協会理事、全日本合唱連盟子どもコーラス委員。カワイ出版より「スチューデントソングブック(1・2)」「合唱エクササイズ(育成編・運営編)」他、ブレーン株式会社より「合唱のイントロダクション」を上梓。また、「みなづきみのり」のペンネームで作詞活動を展開。ナレーションと演出による「合唱物語」という形態の構成も含めて、松下耕、千原英喜、信長貴富、相澤直人…等の作曲家により多数の曲が作られている。



ピアニスト 内藤典子

大阪音楽大学卒業後、同大学音楽専攻科ピアノ修了。2005年ブラハサマーアカデミーに参加、ファイナルセッションに出演。なにわ藝術祭新進演奏家競演会、尼崎アルカイク新人演奏会に出演。2010年トスティ歌曲国際コンクールアジア予選大会にて、トスティ・ピアノ伴奏賞受賞。関西歌劇団、関西二期会、ザ・カレッジオペラハウス、びわ湖ホール等でピアニストを務める。現在、大阪音楽大学演奏員、同大学付属音楽院オペラ研修所講師。日本演奏連盟、神戸音楽家協会各会員。



同志社コール・フリーゲル

私たち同志社コール・フリーゲルは、今年で創立52周年を迎える学生混声合唱団です。愛称は「ゲル」で、現在は約75名で活動しています。今年度は「歌え、私たちの物語を」というスローガンを掲げ、ラテン語宗教曲や日本語の合唱曲、ポップスなど幅広いジャンルの楽曲に取り組みながら、合唱物語の要素を取り入れたステージや、アラカルトステージなどにも挑戦します。このサマーコンサートは、伝統を踏襲しながらもゲルの新たな一面が見られるような演奏会になることでしょう。

個性豊かな仲間たちと紡ぎだす、ゲルの新たな「物語」をお楽しみください。